

## ■地域貢献実践事例調査 収集事例一覧

No.	都道府県	法人名	活動概要
1	北海道	蘭越 厚生事業団	【介護教室】 介護老人福祉施設として高齢者福祉の向上のため、施設入所サービス及び短期入所サービスを行い、利用者の方々の日常生活の全般に渡り援助を行い、地域社会のニーズに応える。
2	北海道	幸清会	【介護課族への教育支援プログラムの開発】 高齢者の尊厳を支えていくために、実際の施設や在宅介護の場面で使える方法を専門家による講義と参加者の話し合いで考えてゆきます。「認知症」「環境づくり」「介護方法」などをキーワードに様々な内容を用意してゆきます。
3	北海道	幸清会	【噴火避難者に対する入浴事業】 平成12年3月31日、有珠山が23年ぶりに噴火、伊達市内の体育館等に多くの避難者が収容される。その避難者に対し、施設のバスを提供し、施設のお風呂を提供し入浴いただく。
4	北海道	幸清会	【避難緊急時受入れ事業】 平成12年3月31日、有珠山が23年ぶりに噴火、伊達市有珠地区の養護老人ホーム「潮香園」の利用者80人を緊急受け入れ、19日間利用者の居住場所の提供、食事の提供等を行う。
5	北海道	幸清会	【野球をとおしての福祉啓蒙活動】 法人主催の中学野球大会、野球教室の開催及び野球部公式戦の応援ツアーを企画し、多くの地域住民（施設利用者・職員含む）の方々の参加を募り交流を図っている。交流をとおして福祉現場の現状等を知っていただく。
6	岩手県	やまどり 福祉会	【介護教室】 私たちが地域と福祉活動を協力、協働関係に基づき進めるひとつとして、福祉施設が地域社会での役割、いいかえれば「施設の社会化」があります。平成17年度からその役割を担うべく介護教室を開催する計画を樹立いたしました。
7	岩手県	江刺保育園	【母親育成のための食体験事業（高校生を対象とした調理指導）】 施設の子どもたちに対して様々な食教育を実施しているが、さらにこの活動を深めるために、この取り組みを実施している。 「食」は人が生きるために欠かせない行為である。食事の時間は、家族がお互いに語りあい、食生活の規則は社会の規則を守る基礎となる。また、食事が食べる者、調理するものとの愛情の交換の場であること、規則正しい生活と正しい栄養摂取が健康な生活に欠かせないこと等、人がよりよく成長し生きるための大切な要素が「食」の中に全て含まれている。子どもたちの成長は、その家庭の毎日の食事によって大きく影響されている。その上で、いずれ母親、父親になる高校生に対して子どもたちのためのおやつ作りを通して「食」することの喜びと、家族のあるべき姿、そして「食」の本質を伝えるための活動である。
8	岩手県	岩手更正会	【社会奉仕】 就労の達成、社会生活の実現を目標に社会奉仕活動の着手は早く長い。主な奉仕活動は、積雪期の老人宅の除雪、地域の1,2月の厳寒期の夜回り、地域の道路沿いのごみ拾い、年の瀬の独居老人宅の家屋の修理、献血、点字歩道盤の敷設など。この活動で建設大臣、厚生大臣の感謝状を受けている。 特に平成9年度に現在地に移転してから地域社会のつながりを強め、老人の日には紙芝居を制作して上演、園の手づくりの豆腐をごちそうしたり、園の主な行事に参加してもらっている。
9	岩手県	睦会	【スノーバスターズ事業】 市内の独居老人宅の雪かき（スノーバスターズ）実施。社会福祉協議会が窓口であり、当施設利用者がチームをつくり、生活環境確保のために雪かきをしている。

10	岩手県	小原慶福会	<p><b>【放課後児童健全育成事業】</b>  学校下校後から親が迎えに来るまでの間、地域の利用希望の児童を対象に「学童保育」と、学校の休日等に日中から親が迎えに来るまでの間預る「デイ・ステイ」とがあり、今までに学区の城南小学校と隣の山岸小学校の児童の利用がある。</p>
11	秋田県	井川町福祉会	<p><b>【職員のボランティア活動】</b>  井川町民の憩える場、学術的な桜の品種の多い公園として名高い日本国花苑は、約 50ha の広大な面積を要し、その管理に多大の経費が財政的な負担となっている。そのため職員として自主的な奉仕の除草活動を毎年実施してきた。仕事終了後約 50 人の職員が一斉に日時を定め取り組んでいる。又、生活環境美化委員会をつくり園外の花壇設置、野菜畑の取り組みを行なっている。</p>
12	秋田県	大館感恩講	<p><b>【家庭・母子相談事業】</b>  相談内容は、一般市民からの入所に関すること・夫婦親子等家族間調整に関すること・施設で行っているトワイライトステイや一時保育事業に関すること・施設退所者からの各種相談が主である。  相談に対しては百合ホーム職員が対応するが、施設内完結ではなく、必要に応じて社会資源に結びつけることをしている。</p>
13	秋田県	花輪ふくし会	<p><b>【小坂町「軽度生活援助事業」】</b>  小坂町の「軽度生活援助事業」の除雪部門において、小坂町と事業所委託契約を結び、該当世帯の除雪・排雪活動を行っている。料金は 1 時間 2,000 円、2 時間 4,000 円、3 時間 5,000 円で、10%を対象者が、90%を小坂町が負担している。</p>
14	秋田県	雄仁会	<p><b>【あったかハート（地域高齢者福祉給食サービス）】</b>  仁井田地区内に在住、65歳以上でひとり暮らし、または寝たきりの高齢者や障害をもつ方を対象に、地区民生児童委員、地区社会福祉協議会と連携し、冬期間（11月～3月）に配食を行う。当施設では調理、配膳等を担当し、地域活動の一貫として職員、児童らも同行し交流している。</p>
15	秋田県	グリーンズ	<p><b>【保育に欠ける幼児の保育、聴こえやことばの障害の療育】</b>  「聴こえ」と「発達」に配慮の必要な子どもを支援する分野の人たちが、子どもの理解と支援について学習や討論をする場を作るために企画した。  2002年から、毎年「聴こえ」と「発達」に分けて毎年2回、実施してきた。  「聴こえ」と「発達」に配慮の必要な子どもに関わる教師、保育士、リハビリテーション専門職そして医師が参加し、討論することで理解が深まったと思う。</p>
16	栃木県	下野会	<p><b>【公園清掃活動】</b>  児の入所施設として、作業指導を通じて、作業を行うことで働くことを自覚認識し、地域との交流を深め、ごく自然に社会のルールを覚える。体力、集中力の増加を図り、健康を維持しながら社会復帰を目指す。</p>
17	群馬県	春風会	<p><b>【施設見学～デイサービス1日体験～】</b>  民生委員、在宅介護支援センター（当時）、居宅介護支援事業所、デイサービスが連携し、地域住民、在宅高齢者の方々を対象とした施設見学、デイサービス1日体験、福祉サービス説明会を開催する。  時間を短縮したデイサービス1日体験を行う中に施設見学を取り入れ、在宅介護支援センター（当時）と居宅介護支援事業所が福祉サービスの説明と質疑応答を行う。</p>
18	群馬県	三晃福祉会	<p><b>【食育教室】</b>  「子どもの食を見直してみませんか」ということで食に関しての相談を受けつける。  子育て中の人に呼びかけ、食育教室の中で、食の大切さを訴え、楽しく、親子でコミュニケーションをはかりながら料理する。又、食に関しての講話をし、健康な食生活ができるよう指導する。</p>

19	群馬県	三晃福祉会	【子育て講演会】 時間 40分～60分、保育園、幼稚園、公民館での親の集まりに出向き、子育てについての話しをする。子育て相談がある時は、講演会終了後に受け付ける。
20	群馬県	桔梗会	【災害時等の一時避難サービス事業】 県などからの要請があり次第、災害予想時に在宅高齢者等を施設で避難受け入れを行う。
21	群馬県	かなな会	【6月の藤華祭1月の地域支援センター（毎年）】 藤華祭：「かなの里」1年1年の節目に地域の人に障害を理解してもらうことと感謝の意味をこめて誰でも共に楽しめる1日をと、毎年開催し、ことしの6月で第7回を迎えた。3回目よりみかぼみらい館大ホールを借りている。 地域支援セミナー：これも障害への理解を深めることと関係職員の専門性を高めてもらうためのセミナー。みかぼみらい館小ホールを借りたり、市民ホーム、公民館を借りている。
22	群馬県	親孝行の里	【介護者教室】 地域の住民を対象とし、介護保険制度の説明及びサービス等の説明、又、希望に対しては施設見学の実施。
23	埼玉県	みずほ愛育会	【子育て情報誌作成とネットワークづくり事業】 ・子育て中の母親たちにとって夏に必要な情報誌を作るため母親たち自らが作成に参加する ・地域で横の連携を持って子育て支援をするために子育て中の母親たちを核とした地域住民機関のネットワークをつくる
24	埼玉県	美咲会	【きらく会（ミニデイサービス）】 毎週第3日曜日に地域にお住まいで、要介護認定を受けていない65歳以上の方を対象としたミニデイサービスを行っている。内容は「健康ばなし」「レクリエーション」「食事」の3本立てで実施。また必要に応じて送迎を行っている。
25	埼玉県	共愛会	【実習生の積極的な受け入れ】 福祉系大学、短期大学及び専門学校の実習と介護体験の受け入れを行っている。平成17年度の受け入れ実績は学生71名、延べ804日であった。実習中の通園が困難な学生のために実習生用の宿泊施設を完備している。 又、市内小中学校の生活・総合学習の授業における職場（事業所）見学の受け入れも行っている。
26	東京都	わかば福祉会	①身体測定とこれを入口とした育児相談と指導 ②小学校でLD児とならず勉強ができるため
27	東京都	深川愛隣学園	地域に住む外国人に日本語を教える
28	東京都	北野会	①毎月の誕生会にボランティアを招いた ②年2回のホーム喫茶にボランティアを導入した
29	東京都	東京 ヘレン・ケラー 協会	点字図書館における点訳・盲訳図書制作ボランティアの育成を図る
30	東京都	黒潮社	地域の独居老人宅（おおむね75才以上）に園で調理した弁当をもって子どもたちと交流する。
31	東京都	東京玉葉会	特別養護老人ホーム青陽園の施設機能を、8の日無料健康相談を通して地域住民の方に提供し、地域住民の方の健康増進に貢献することを目的とする。
32	東京都	教信精舎	小学生が乳幼児と触れ合い、そして、保育の補助をする中から「人のためにする」という感覚を実感できる体験を目的とした活動です。
33	東京都	平心会	高齢に伴う体力低下の防止 地域のネットワーク化の充実化
34	東京都	日向和田 保育園	日向和田保育園の地域活動事業の一つとして、小学校低学年児童（特に当園卒園児）が受け入れ、在園児と一緒に遊びを通して交流し、お互いのやさしい思いやりの心を育むこと、また、小学生の保育体験学習の場を提供する（年間を通して実施しているが、夏休み等は特別メニューで実施している。）

35	東京都	嬉 泉	週 2 回の園庭開放し、地域の親子（0 才～3 才）が集まり、遊ぶ。日常的に子育ての相談を受け、月 2 回親の懇談会を設けている。（子育てについて、栄養士の話など）「子育て支援」を目的とする。
36	東京都	フロンティア 豊 島	食事作りの困難な独居高齢者、高齢者夫婦に対し、昼食を提供することにより高齢者の食生活の向上を図ると共に、訪問時に安否確認を行い、高齢者の自立と生活の質の確保を図る。
37	東京都	フロンティア 豊 島	近隣住民の方への施設開放により、養浩荘への理解を深めて頂く。また、交流により入居者自身の充実した生活へつなげる。
38	東京都	フロンティア 豊 島	デイサービスの利用者及び地域高齢者等に対して、栄養バランスのとれた規則正しい食生活の提供をする。又、訪問時に安否確認を行い、健康状態に異常を認めた際は、医療等関係機関への連絡等を通じて高齢者の在宅での自立と日常生活の質の確保を図る。
39	東京都	徳 心 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に福祉・介護について考える場を提供する</li> <li>・各事業所が連携して、地域にサービスを提供できる体制を整理</li> <li>・職員の専門性を高める</li> </ul>
40	東京都	高原福社会	核家族化の中で若い夫婦の子育て支援 夜間の緊急一時預かり、ショートステイ、トワイライト
41	東京都	日 心 身 障 害 協 会 本 児 会	本センターは、国の定めた発達障害者支援センターの運営事業実施要綱に基づいて、発達障害に関する支援を総合的に行う地域の拠点を目指し、発達障害に関する諸般の問題について発達障害児（者）およびその家族からの相談に応じ、適切な指導または助言または問題の改善に有用な各種事業を行うとともに、関係施設との連携強化や、自治体の発達障害に関わる事業を請け負って、発達障害児（者）に対する地域における総合的な支援体制の整備を推進し、もって、これらの発達障害児（者）およびその家族の福祉向上を図ることを目的とする。
42	東京都	三 鷹 市 社 会 福 祉 事 業 団	在宅の高齢者等が安心して住み慣れた地域で暮らすことに寄与するため。
43	東京都	太陽福祉協会	一人でも多くの方がこの施設をおとずれ、障害をもっている人たちが、こういうふうに住んで生活をし、日々、がんばって生きていることを知ってもらいたい。
44	東京都	福 栄 会	地域に暮らす健康的な高齢者が支援を必要とする老人ホーム利用者に暮らしのお手伝いを行い、高齢者同士の支援関係を築くため。
45	東京都	日 本 本 盲 人 会 連 合	小・中学生の社会見学として施設内の見学を受け入れている。
46	東京都	中 野 区 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 団	在宅の介護が必要な高齢者を抱える家族を対象とする。介護技術の向上並びに介護者同士の交流・情報交換を目的として家族介護教室を実施することにより、介護負担の軽減と虐待の防止を図る。
47	東京都	けやき福社会	保育に関する情報の提供
48	東京都	けやき福社会	在園児以外の家庭の子育て支援
49	東京都	けやき福社会	総合的な子育て支援
50	東京都	か や の 実 社	わらべうた遊びを通して親子の触れ合いや子どもとの遊び方を伝え、子育てについて様々な情報を提供しながら子育ての悩みなどを保育士、看護師、栄養士が応じる。また孤立しがちな親同士の交流を深め、親子の仲間作りの場として支援していく。
51	東京都	三 徳 会	介護予防を視野に入れて在宅の高齢者や介護者を対象とした食事の重要性を啓蒙し、生活習慣病予防、手軽な料理方法などを行い、また栄養相談も随時行う事を目的とする。
52	東京都	多摩大和園	地域における社会福祉法人の役割を地域と共に考え、地域に還元する。
53	東京都	武 蔵 野	市内の障害のある方が交流し、楽しむ機会とするとともに、ボランティアや一般市民の参加を得て、市民の障害に関する理解を深め、共生の街づくりを目指す。
54	東京都	武 蔵 野	地域の団体の事業にかかわることで、地域の事業の内容に障害者福祉の視点を入れ、団体の運営の質を向上させたり、人のネットワークを作り、障害者・児への理解を深める。

55	神奈川県	中心会	<p><b>【親子サロン】</b>  月2回、親子ふれあい遊び、リズム遊び等を中心に、親子がふれあいながら過ごす事ができるようにプログラムを組んでいる。季節にちなんだ手遊び、歌、お話、親子体操、リズム遊びを取り入れている。当日、来られたお子さんによりプログラムの変更も考慮しながら行っている。未就学児が対象となるため、発達段階の違いが大きくそれぞれのお子さんが輪の中に入れるように配慮している。また、保護者の方がお子さんを理解すること、適切な関わりができるための助言も行っている。</p>
56	神奈川県	中心会	<p><b>【介護用品リサイクル】</b>  不要となった介護用品を、必要とする者に仲介する。施設は、品物の講評、輸送を担当する。引取りなどは基本的に行わず、在庫を持つことはしない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出品を受ける</li> <li>・ 出品者宅へ、品物の確認、写真撮影などを行いに行く</li> <li>・ 広報誌、ホームページに掲載</li> <li>・ 注文が出た場合、出品者宅へ品物を受け取りに行き、注文者宅まで運搬する</li> <li>・ 出品にない注文についても、広報誌、ホームページに掲載、出品者を募る</li> </ul>
57	神奈川県	中心会	<p><b>【ボランティアスクール】</b>  海老名市在住の中学生を対象に、夏休みの福祉施設での体験を通して、社会福祉への関心・理解を深める。共に生きることの大切さや自分自身の生き方を考えるきっかけを作る。  中学生という年齢を考慮し、体験はレクリエーションの援助や会話、食事の配膳膳を中心とし、排泄・入浴介助等の身体介助については説明のみとする。</p>
58	神奈川県	中心会	<p><b>【サマースクール】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海老名市在住で、将来の目的を持ち、精神的にも成長している高校生、専門学生、大学生を対象に、福祉施設の体験自習を通じて社会の現状と福祉のあり方を考える場を設ける。</li> <li>・ 職員がどのような動きをしているのかを、担当職員の利用者への対応の仕方を観察したり、朝のミーティングに参加し、そこで報告される内容から把握する。また、利用者への介助等は、会話対応や入浴の誘導の見守りなど直接的な身体介助は行わず説明のみとする。</li> </ul>
59	神奈川県	中心会	<p><b>【サマースクール】</b>  海老名市在住の中学生を3日間、施設に受け入れ、高齢者に接する機会を設ける。デイサービスにて、体操や歌などのレクリエーションに参加したり、特別養護老人ホームの配膳、おやつ介助、入浴整容介助、入所者との対話などを通じて、見学程度の「職場体験」よりも掘り下げた実際に仕事をすることを意識する場を提供する。</p>
60	山梨県	信和会	<p><b>【地域奉仕活動】</b>  現在①JR中央線、穴山駅（無人）の清掃（週1回）  ②地域の公民館の清掃（週1回）  ③神社の清掃（月1回）  ④道路の空き缶ひろい（月1回）  ⑤郵便局前の街路樹の剪定（月1回）  ⑥果樹の収穫の手伝い（夏3週間、秋1週間）  ⑦災害時における避難所としての提供等を行っており、幅広く活動を展開しております。</p>
61	山梨県	和告福社会	<p><b>【地域の街づくり・共に生きる】</b>  農地の開拓から出来た施設、道路が出来、町が出来、地域共に生きて来た施設、地域の町づくりに、共に生きるをスローガンに、ミナが楽しい生活が出来るように、地域のふれあいをベースに行っています。体力づくり、年4回、介護保険を知っていただく為に、民生委員を始め、施設見学・勉強会を行っている。月1回のふれあい会を通し、地域の街づくり、又、地域のどんな高齢者がいるのか、施設の利用者</p>

			も地域住民に知っていただき、緊急時の対応になり、将来、災害時の拠点施設として進めて行けるよう、地域と連携をとり計画できるよう進めて行く。
62	山梨県	山の都福祉会	<p>【当施設に隣接する河川公園の美化推進】</p> <p>当施設に隣接する1級河川鬢櫛（びんぐし）川の河川敷に、山梨県、甲州市のご理解をいただき、施設の利用者が散歩や、芝生でのレクリエーションができるよう整備・協力をさせていただきました。</p> <p>私たちの施設としても折角のご好意に応えるべく、定期的な公園の管理清掃（芝生の雑草の除去作業、公園内に設けられた花壇への花植え、水やり、除草等）を継続的に行うことに致しました。</p> <p>また、この公園は主要道路・中央道勝沼 IC から大菩薩峠に向かう幹線道路沿いでもあるため、多くのドライバーの目にふれるため、地域の美化活動の一翼を担っているかと思われま。</p>
63	山梨県	興邦会	<p>【身延町社会福祉協議会下部いきがいデイサービスサービス交流会】</p> <p>毎年8月に身延町社会福祉協議会下部支所で行われているいきがいデイサービスセンターの利用者の皆さんと1週間を通し、午後13時30分ごろ～15時ごろまでレクリエーションや歌唱等を行いながらもべ荘で楽しく過ごしていただいています。いまだに老人ホームに行くのはいやだと思っている方が多いなか、まずは、介護保険外で行われているいきがいデイサービスの利用者を対象に、少しでも嫌なイメージを無くすような目的で行っています。</p>
64	山梨県	ゆうき会	<p>【地域独居老人の生甲斐支援活動】</p> <p>独居老人の日中の活動の場として提供し、ボランティア支援員として受入れを行っている。現在は、民生委員から依頼され、一人暮らしのため、会話もなく規則正しい生活ができなくなり、うつ症状が出ている方を受け入れ、利用者と一緒に作業をしたり食事を取ることで生活リズムが整い、表情も明るく利用者との会話もできるようになってきている。</p>
65	山梨県	ひかりの家	<p>【療育相談】</p> <p>乳幼児期の成長発達について悩んでいる方を対象に、個別相談会を行う。講師は松井紀和先生（精神科医、元山梨大学教授）</p>
66	長野県	塩嶺福祉協会	<p>【地域巡回バス ハッピー広場 機能訓練教室】</p> <p>1. 生活相談 2. 健康相談 3. 教養講座 4. 入浴サービス 5. 老人クラブ各種団体の送迎サービス 6. 地域巡回バス 7. 機能訓練教室</p>
67	長野県	つるみね福祉会	<p>【市内子どもボランティアグループ（福祉教室）との交流研修】</p> <p>「岡谷市子ども福祉教室」でボランティア活動をしている児童約30名とスタッフ10名を年1回受け入れ、児童養護施設に対する理解、知識を深めるとともに幼児との交流を行っている。</p>
68	新潟県	新潟みずほ福祉会	<p>【”しょうがい”のある方もない方も地域の茶の間さろん「わぁ〜らく」】</p> <p>新潟みずほ福祉会の地域生活支援事業は、02年10月どこからの補助も得ない法人独自の公益事業として、障害者生活相談室「わぁ〜らく」の開設で始まった。その後1年間の独自事業の実績のもと、西蒲10ヶ町村から国庫補助事業である「地域生活推進特別モデル事業」を受託。西蒲原郡障害者生活支援センターとして、04年10月から05年3月末まで1年半、西蒲地域の福祉の向上に向けて活動。</p> <p>委託事業の終了後は、再び法人全額持ち出しの公益事業として相談支援事業を継続し、その一環として地域の茶の間さろん「わぁ〜らく」も開設した。</p>
69	新潟県	上越老人福祉協会	<p>【認知症に関わる啓発及び相談事業（認知症相談センターの開設運営）】</p> <p>(1) 認知症に関わる考え方や具体的な対応方法などについて、直接面談、電話による相談支援活動</p> <p>(2) 認知症に関わる書籍・資料（100冊以上）及びビデオ等の閲覧、貸出等の参考資料の提供活動</p> <p>(3) 一般住民、施設職員、病院職員等を対象に、認知症に関わる研修会等を通じての啓発活動</p> <p>(4) 認知症に関わる関係機関との連携活動</p>

70	新潟県	長岡 老人福祉会	<p>【与坂高齢者共同住宅及びたまり場「忘時庵」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者共同住宅 昨年9月開所以来、入居の照会が数件発生するも運営管理体制の条件を満たす入居者が現れず、現時点では入居まで至っておりません。</li> <li>・たまり場「忘時庵」 開所以来、施設独自の企画催事（医療と福祉の話し・介護教室など）に加えて行政のバックアップを得て、ボランティア活動団体「かたこん」による行事の共同開催により、地域住民の周知と交流が図られ、日毎に訪問利用者が増加、特に近隣の高齢者の数名が常連となっています。最近では、夏休みに入って小学校の高学年生の往訪も目立ちます。</li> </ul>
71	静岡県	富岳会	<p>【ボランティア活動】</p> <p>季節に応じた行事实施の折に地元中学生、高校生を対象にボランティアを募り、施設、施設で生活する人、社会の動向を知っていただくことで、自分に出来ること、必要とされていること、役に立つことなどを自覚していただく。行事概要説明、清掃、準備、実施、片付けを行い、感想を伺う。ねぎらいの言葉かけと次回につなげる。</p>
72	静岡県	白翁会	<p>【社会福祉関係人材の養成支援その他】</p> <p>①社会福祉人材の養成支援 大学、専門学校等の要請により、法人全体として年間約90人、延べ680人程度の実習生を受け入れている。</p> <p>②被虐待児童の受け入れ 盲学校の要請により、被虐待盲学校在籍児童を夏期、冬期の休み期間受け入れている。</p>
73	静岡県	あしたか 太陽の丘	<p>【DV被害者の一時保護事業】</p> <p>静岡県から、DVによる被害を受けている女子の保護委託を受け、一部の施設の空き居室を提供して、一時保護を行う。 一時保護事業の内容として、保護期間中における生活の場の提供、日常生活の支援、食事の提供、当該一時保護期間終了後の移行先についての助言等を行う。</p>
74	静岡県	たんぽぽ会	<p>【聴覚障害児との交流保育】</p> <p>ろう学校幼稚部の生徒を保育所で受け入れ。又は、ろう学校へ行って交流保育を行う。聴覚障害児が同年齢の健常児とふれあい、年齢発達にあったあそびを体験する。</p>
75	静岡県	春風会	<p>【夏期 中学生福祉体験学習】</p> <p>①中学生（参加者）が、当施設体験学習の経験の有無に関わらずオリエンテーションで、体験学習に関わる範囲内での介護に関する基礎的な知識と若干の技術的なことを指導する。</p> <p>②利用者とのふれあい学習・・・塗り絵、壁飾り、団扇作り等の利用者共同作業での作成と紙芝居、ゲーム、散歩等の活動</p> <p>③環境整備・・・廊下、居室等の清掃活動</p> <p>④介護として・・・食事・移動等の補助</p> <p>⑤参加者の反省会・・・1日（2日間）のことを感想文に記す</p>
76	静岡県	健生会	<p>【地域ボランティア団体「パンジーの会」への施設開放】</p> <p>地域のボランティア活動団体「パンジーの会」への施設開放。 パンジーの会は、中島学区在住で70歳以上の独居高齢者を集めレクリエーション等と昼食会を実施している。（1年間で5～6回）</p>
77	静岡県	美和南福祉会	<p>【美和ふれあい祭り】</p> <p>村といわれた時代の伝統を絶やさないようにする。 村の古老と一緒にさつまじゃが芋、とうもろこしの植え付け、収穫と一緒に、生活を実体験させるようにして、伝統の楽しみ、かつ行事を知る。</p>

78	静岡県	岳南厚生会	<p><b>【福祉総合相談窓口設置運営】</b>  相談支援を必要な者の初期総合相談を行うための窓口を開設し、相談支援を必要とする者からの相談に対応する。相談案件は、相談受理事簿（ケース基本台帳）に記録し、整理、集約したうえで、地域包括支援センターに報告するほか、継続した関与が必要な案件については、案件ごとにケース基本台帳を整理し、記録すること。  相談区分は電話相談、外来相談、訪問相談である。電話相談は 24 時間対応する。外来相談は受託する事務所の開設時間の対応とする。訪問相談は電話相談、外来相談を必要なものまたは地域包括支援センターから依頼を受けた者に対して居宅等に訪問し実施する。</p>
79	静岡県	岳南厚生会	<p><b>【地域福祉活動啓蒙事務】</b>  担当地区における民生委員連絡会、地区老人会、地区社会福祉協議会その他地域住民の会合（住民座談会）における出張窓口の開設、講座座談会などにより福祉活動についての啓蒙を行うこと。  参加した地域住民の会合、啓蒙活動の内容等について文書により、地域包括支援センターに報告するほか、在宅介護支援センター連絡会議において報告すること。</p>
80	静岡県	みだらけ会 福祉会	<p><b>【EM（有機微生物群）によるプール清掃活動】</b>  法人として取組んでいる環境問題について、地域社会の中で発信しています。  活動内容は、地域のプールや中学校のプール清掃において EM の力によりプールのヘドロや悪臭の発生を防ぎ、汚れもこびりにくくして、清掃が楽になります。また薬品でないためプールから流れた水は、川や海の汚染がありません。プール終了後とプール開きの 1 ヶ月前に EM 発酵液をプールに投入することで地域の皆さん、児童、生徒さんに参加していただき、環境について考えていただければと願っています。また、EM に関連して、施設のさわやか農園において生ゴミリサイクルとして EM と米ぬかによる「ぼかし」で肥料を作り使用しております。</p>
81	静岡県	野菊寮	<p><b>【①近隣のゴミ拾い ②ひきこもり者の施設体験】</b>  ①不法投棄されている野菊寮周辺の道路脇のゴミの回収とゴミ分別業者への引渡しを野菊寮利用者 10 名前後と職員 3 名程度で毎月 1 度行う。  ②以前から青年の家にくる少年たちの施設体験を受け入れていた。今回初めてひきこもりや登校拒否をして現在に至っている在宅の人を青年の家のスタッフが公募して、野菊寮に施設体験の企画を願いました。職員の 1 月前、うつ病のボランティアを受け入れて決まってしまうかなかったので今回引き気味だった。青年の家のスタッフにまず担当棟と話し合い、受入れを作業から入ってみようということになった。食事から利用者交流に入っていこうとした。青年の家のスタッフが協力してくれた。</p>
82	静岡県	圓通福祉会	<p><b>【中学生の職業体験学習受け入れ】</b>  人の成長は乳幼児期にとどまらない。保育園を卒園した子どもが小学校、中学校と成長していく中で保育園がその成長をサポートができることがあれば出来るだけ協力していきたいと思えます。豊岡地区では 3 校の小学校と 1 校の中学校がある。各学校においては授業中であるいは課外活動の中で園児との交流を希望することがあり、園ではその機会を受け入れている。</p>
83	静岡県	花園福祉会	<p><b>【「わくわく」広場】</b>  近くに遊び場がない、遊ぶ友達がいない、もっと大勢の子と一緒に遊ばせたいなど思っているご家庭のみなさんに気軽にご利用していただくよう「わくわく広場」を実施。  毎週火曜日 10 時～お昼まで「園庭開放」「育児相談」夏季はプール遊び水遊び  毎月第 1 火曜日「親子食事体験」  年 4 回「子育て通信」の配布</p>



84	静岡県	育清会	<p>【1 柿田川ホームボランティア体験活動、2 低所得者負担軽減制度】</p> <p>1 柿田川ホームボランティア体験活動 町の児童・生徒の健全育成を図るためにボランティア活動を体験する場を提供し、福祉、高齢者の理解を促すとともに、人材育成の一助に資する。具体的には社会教育課と連携し週2回土曜日の午前・午後、当施設でボランティア体験を行う。参加者5名程度</p> <p>2 低所得者負担軽減制度 低所得者の介護保険の利用促進を図るために町と折衷で介護保険自己負担分を施設負担とする。</p>
85	静岡県	未来	<p>【季節の遊び】</p> <p>さくらぎこども館は福祉施設併設型民間児童センターのため、児童館で午前中子育て支援センター的活動をやり、午後学童保育活動と一般的児童館活動を登録会員制で進めています。県内外の観察者がその点を考慮し、公立では月500円の登録料で、条例をつくり、切符をつくって予算決算をやらなければならないが、法人ならその必要もなく、実行することができ、農家の家屋敷を購入し、山あり、畑ありが魅力的だ。</p>
86	静岡県	四恩会	<p>【障害児との交流保育】</p> <p>障害児施設より学園児親子を受け入れて交流保育を行う</p>
87	静岡県	聖母福祉会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放や親子体操、制作や絵本、紙芝居の読み聞かせ、その他歌あそびやゲームなど幅広く親子ともに楽しく交流できる活動を提供している。</li> <li>・子育て相談や発達相談も行っている。</li> </ul>
88	静岡県	東益津福祉会	<p>【いきいきサークル】</p> <p>自由参加で隔月の午前中1回 施設内地域交流教室にて居場所の提供。企画はスタッフがし、自主的に準備や片づけを手伝っていただく。希望者には血圧測定をサービス、参加には実費のみ負担していただく。 内容例（ウォーキング、運動、バスで遺跡へ、マスコット作り、初釜、お楽しみ会など）</p>
89	静岡県	楽寿会	<p>【認知症相談事業】</p> <p>認知症専門医及び臨床心理士による認知症高齢者と家族のための介護相談事業で、認知症の有無と程度の判定や、症状の説明、対応方法についての助言・指導、又、必要な介護保険サービス利用についてのアドバイス等を実施している。</p>
90	静岡県	葵会	<p>【健全育成の為の地域環境を整える事業】</p> <p>健全育成の為には、地域の様々な世代の方々が生き生きと生活することと各世代への関心を持つことが基盤となると考え、各世代をつなぐ活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康体操・・・20歳代から90歳代まで</li> <li>・ワクワク教室・・・地域の方を講師とし小学生に体験型で知識を伝えるアートバルーン、木工作、お茶揉み、将棋、理科実験</li> <li>・中高生の研修会・・・ボランティア研修、心肺蘇生とAED、薬物講座</li> <li>・趣味の会・・・絵手紙、蕎麦打ち</li> </ul>
91	静岡県	ほなみ会	<p>【絵画をとおした地域世代間交流活動】</p> <p>世代間交流をめざす絵画活動（および国際交流） 今日の社会では、高齢者や成人や児童がそれぞれ分断されたかたちで生活が営まれている。そこで、いま世界の各地で、世代間の交流を推し進める新しい活動が試みられている。当施設では絵画教室に地元のボランティアが参加しているが、その人びとを単なるボランティアとして位置づけるのではなく、地域における世代間交流をめざす一員として位置づけ、実験的活動を行っている。また、利用者たちの絵画はイギリスの高齢者・障害者・児童の絵画と交換しあっている。</p>

92	静岡県	ほなみ会	<p><b>【絵画をとおした地域世代間交流活動】</b>          私たちは施設を地元開放し、高齢者たちの居場所づくり、および交流の場として活用してもらっている。          この地域は伝統的な農村として住民相互の結びつきが強い地域である。かつて高齢者たちはお互いの家を訪問し、家のなかで雑談しあっていた。しかし最近では、同居している若い世代に気兼ねして、相互に訪問しあうことを遠慮するようになり、道端に座って話し込む姿が見られるようになった。          そこで、地元の高齢者たちに自由に施設へ来てもらい、お茶や食事を提供することにより、ゆっくり気兼ねなく交流しあえる場を提供することにした。</p>
93	静岡県	玉柏会	<p><b>【福祉ジュニアスクール】</b>          静岡市社会福祉協議会（合併前は清水市社会福祉協議会）          清水地区地域福祉推進センターとの共催で、市内に住む小学生（5、6年生）を対象に、夏季に2日間の内容で、2回に分けて実施。参加者と利用者（入所者）との協働活動を通して、障害や福祉についてより深く理解してもらおうとともに、自分と他者との関わりについて考えていく、きっかけとなってもらおうこと。小さいころから障害者と実際に触れ合うことで、地域において障害者に対する理解者を増やし、子供達がやがて大人になった時にもその心を忘れないようにする。</p>
94	岐阜県	正和会	<p><b>【地域交流「ふれあい祭り」】</b>          毎年9月に、苑の行事として地域の皆さんと利用者がふれあいを通して理解を深める事を目的として実施している。今年利用者の発表としてハンドベルの演奏、地域の皆さんは「ヨサコイ踊り」を披露し祭りを盛り上げた。地域のボランティアの方も30名ほど来て頂きました。</p>
95	岐阜県	正和会	<p><b>【カーブミラー清掃作業】</b>          当苑のある潮南地区は山間部に位置し道路事情が非常に悪く、そのため住民一人ひとりが道路に対する愛着が強く自分たちの道は自分たちで守るものとの認識のもと道路愛護に努めている。当苑も交通安全協会や地元の皆さんと連携し「カーブミラーの清掃」や「道路のゴミ拾い」等に活動している。</p>
96	岐阜県	武芸会	<p><b>【いきいき教室】</b>          町内の2箇所の公民館にて、それぞれの地域住民を対象に月1回の頻度で開催している。内容は、主に体操、ゲームが中心となっているが、認知症や高齢者特有の疾患等の講義も取り入れている。内容は、地域住民の代表者との話し合いで決定しており、花見や温泉ドライブ等にも外出している。</p>
97	岐阜県	白寿会	<p><b>【地域交流の創作と介護ノウハウの提供】</b>          地域の中から、施設で特技を活かした活動をしていただける方を登録する。施設独自の登録ボランティア制度を設け、認知症のかたも含め高齢者とのコミュニケーションの方法を理解してもらおうとともに、毎年行う研修会で車椅子の取扱いを始め、嚥下困難者の食事や介助方法等を学んでいただき、地域における高齢者介護に役立てたり、高齢者介護の助言者となっていただく。</p>
98	愛知県	サン・ビジョン	<p><b>【ボランティアコーディネーター】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関、教育機関、地域社会へのネット活用、及び、紙面、口コミでのボランティア広報活動の実施</li> <li>・ボランティアの確保、安定に伴うための講座、企画の実施</li> <li>・ボランティアの向上、自己開発のための講座、企画の実施</li> <li>・ボランティア受け入れ側の研修・勉強会、アンケートの実施</li> <li>・ボランティア同士の情報交換の場、交流会の開催、実施</li> <li>・ボランティアと受け入れ側の情報交換の場、懇親会の開催、実施</li> <li>・各事業所からのボランティア依頼に関する、日時、人数調整の実施</li> <li>・ボランティア活動者の個人情報保持に関するデータ管理の実施</li> <li>・法人職員ボランティアの地域活動に関する情報提供、及び、活動に伴う日時、人数調整の実施、データ管理</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的機関との連携、情報交換に関する各種会議への定期的参加の実施</li> <li>・ボランティア新聞の定期的発行、及び、これに伴う会議開催の実施</li> <li>・ボランティアへの定期的な各種活動依頼、情報提供に關したネット活用、及び、郵送配布作業の実施</li> <li>・活動者への定期的な季節を通じた挨拶状作成、及びアンケートの実施</li> <li>・全国ボランティア大会への定期的参加の実施 等</li> </ul>
99	愛知県	ふたば福祉会	<p>【地域住民のニーズに応える為の講演活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H17年4月社会福祉法人として地域住民のニーズに応え、積極的に社会貢献することを目的に、当施設内に社会貢献チーム(SSチーム)を結成。</li> <li>・地域福祉への貢献を当施設の使命として受けとめ、小学校区ごとに設置された地区社協や公民館などからの要望に応え、各種講演活動を実施。</li> <li>・講演の内容は以下の通り 「生きがいをつくる健やかな老後」「認知症の予防と介護」「介護サービスの種類と利用」「地域で支える地域で創る福祉」 など</li> </ul>
100	愛知県	慈雲福祉会	<p>【傾聴ボランティア養成講座】</p> <p>地域にボランティア募集を呼びかけ続けたが、応じて頂けない。ボランティアの目的を傾聴とすることで参加者も増えるのではないかと考え、法人独自で養成講座を立ち上げた。</p> <p>平成16年は年5回、平成17年は中学生を対象とした講座を加え年6回、平成18年は中学生を対象を2校としたため年7回開催。</p>
101	愛知県	豊橋市 福祉事業会	<p>【②豊橋ゆたか学園は、療育相談事業】</p> <p>地域の在宅障害児等の保護者を対象に、子どもの療育、就学、進路、社会資源の活用等についての様々な悩みや問題に対して具体的なアドバイスや関係機関の紹介、情報提供等を行う相談事業を実施している。</p>
102	愛知県	サンライフ	<p>【介護講座】</p> <p>介護保険サービスを提供する法人として、より地域へ貢献する一つの手段として、介護講座を実施。目的としては、①介護をしている方、介護に興味のある方へ知識、技術の提供②家族間の交流の場③介護者のストレス発散の場④施設の理解⑤職員の知識の向上。</p> <p>毎月のテーマは広範囲にわたり選定したもので年間を通じて参加者には日常生活での様々な介護方法や基礎知識、心理面の理解や社会資源活用法などを提供している。</p>
103	愛知県	サンライフ	<p>【遊歩道環境整備活動】</p> <p>施設周辺に流れる排水専用水路の暗渠化にともない、上部有効活用として市が遊歩道を設置。遊歩道両側の植え込み(ゆうきやなぎ、れんぎょう)・花壇の管理、雑草の除去、側溝清掃および、散乱ゴミの回収等環境美化活動を、市とのアダプトプログラム契約(里親制度)に基づき、職員・地域住民協力の下行っている。</p> <p>美化活動をとおり、地域の方々との興隆を深め、施設(法人)をより理解いただくことにより、地域に根ざした施設運営につなげている。</p>
104	愛知県	サンライフ	<p>【ボランティアコーディネーターの設置】</p> <p>法人(江南エリア)にボランティアコーディネーターを設置し、法人全体におけるボランティアに関する調整、施設内での養成講座、交流会等を実施する。また、地域住民へ施設内でのボランティア活動の取り組みについての情報を提供する。</p> <p>小・中学校の総合学習、職業体験等を通して、その後のボランティア活動へつなげられるような援助を行う。同時に近隣の学校も含め地域への広報活動を行う。職員が地域住民との親睦を深めるため、地域へのボランティア活動を推進する。</p>
105	愛知県	無門福祉会	<p>【自閉症勉強会】</p> <p>自閉症支援の実践報告をし、家族や保護者、関係者、行政、地域の方へ自閉症への理解を深めてもらう。</p>

106	愛知県	昭徳会	<p>【小原寮周辺の空き缶拾い】</p> <p>施設近くの国道（歩道）や散歩道に落ちている空き缶を拾い回収する。回収したものは、毎日の作業で行っている空き缶潰しの材料となる。潰したものは年数回、業者に売りに行き収入となる。収入は年数回、関係利用者に公平に分配をする。</p>
107	愛知県	恩賜財団 済生会支部 愛知県済生会	<p>【(早期) 地域療育システム整備に向けての取り組み】</p> <p>青い鳥医療福祉センターの地域支援は、障害児（者）地域療育等支援事業を中心に行っています。その事業には、地域療育専任スタッフ3名だけでなく、医師・リハビリ・看護師・保育士・指導員など様々な職種のセンタースタッフが関わっています。事業を開始した平成12年当時、担当することになった尾張中部及び海部津島障害保健福祉圏域（当時20市町村）は、障害児施設もなく、障害児通園事業を行っていたのは、20市町村のうち2町だけで、在宅の障害児（者）を支える社会資源は乏しい状況でした。青い鳥医療福祉センターでは重点的課題として（早期）地域療育システムの整備に取り組んできました。その過程で療育事業等が各地に開設され、平成17年度末には、圏域13市町村（市町村合併により減少）で、14ヶ所と広がりました。</p> <p>地域の療育体制整備に向けて取り組んだ母子通園施設開設への働きかけや、新しくできた通園施設（療育教室）に対しての支援の実際について報告します。障害児（者）を抱えた家族が、地域で孤立することがないように、障害児（者）が安心して暮らせる地域作りの一助となるような活動を行っています。</p>
108	三重県	諦聴会	<p>【デイサービス施設訪問活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いっしょに歌ったり、おどったり手遊びをする。</li> <li>・昔からよく歌われた歌を子どもに教えて、一緒に歌えるのはとてもうれしそう</li> <li>・茶つみ歌セッセッセ大好評</li> <li>・手もみもみ肩とんとん、利用者さんの表情が素晴らしい</li> </ul>
109	三重県	敬真福祉会	<p>【地域美化活動】</p> <p>当施設の地域美化活動の開始は、地域で貢献できる身近な活動として、昭和62年から開始した。当初は、施設周辺の掃除から始まり、その後JRの駅2つのトイレ等の掃除を定期的実施し、感謝状も頂き入所者の方も達成感を持ち日頃の作業意欲も向上してきた。その後、新施設移転しJR駅の美化活動から隣接する県の公的施設や公園の周辺美化に移行し現在に至っている。今後も範囲を拡大し、少しでも地域に貢献できる充実した活動を実施していきたい。</p>
110	三重県	弘仁会	<p>【地域への貢献】</p> <p>地域住民や地域の各種団体への情報提供として、介護保険制度の周知や情報の提供、又、介護技術や知識修得のための公園や実技指導等を実施している。</p> <p>又、地域の行事等に積極的に参加する中で地域づくりの向上においても参画を行い、地域の行事への支援及び運営を実施している。</p>
111	三重県	夢の郷	<p>【障害者地域ピアサポート事業（ピアサポーター養成講座）】</p> <p>サービスを受ける立場であった当事者が、サポートする立場に立つことで、生きがいや自分自身を振り返るきっかけを得ることができる。また、仲間との交流により、新しい自分や新しい価値観に気づき、今後の生活を豊かに質の高いものにしていく場でもある。自分に向き合い、自分も相手も豊かな生活を送るために活動するピアサポーターを養成していくものである。</p>
112	三重県	キングス ガーデン 三重	<p>【シルバースクール】</p> <p>今年の9月、10月、11月、12月に実施予定。各月のテーマを決め、そのテーマに沿って、学び（知的刺激）、触れ合いゲーム、リラックスタイムのお話し（お茶の時間）、レクリエーション、体操の内容を決めている。</p>

113	富山県	白皇山保護園	<p><b>【花いっぱい活動】</b> 八尾園では開かれた施設を目指して、施設がもつ専門技術で地域への還元、地域交流を行っている。陶芸教室やコンクリートブロックの安価販売など様々な活動を行っている訳だが、今回は園芸班が行っている花いっぱい活動を紹介したいと思う。 園芸班では主に草花を種から育て、たくさんの花苗を作り、花壇を作ったり、地域の花愛好家の方や小学校、保育所、幼稚園に花苗や球根を配ったり、公共施設に季節の花鉢等を届け定期的に交換するなど、施設内にとどまらず、地域全体が花でいっぱいになるよう活動を行っている。</p>
114	石川県	北伸福祉会	<p><b>【むつみ会（保育園等訪問事業）】</b> 朱鷺の苑のお年寄りと職員が、「むつみ会」という劇団をつくり、お芝居を近隣市町の保育園や老人保健施設 デイサービス 公民館などで公演しています。最初は自分たちからお願いして公演させていただきましたが、次第に公演依頼がはいるようになって来ました。平成9年の「桃太郎」をはじめとし、昨年の「花さかばあさん」まで9作を上演してきました。今年度は「かちかちやま」を練習しています。いずれも本当の昔話を少しアレンジしたのですが、園児たちもとても楽しみにしてくれ、また、お年寄りも園児たちが待っていることが励みとなって続けてこられた活動です。</p>
115	石川県	佛子園	<p><b>【地域での海洋性スポーツ活動の普及】</b> 1985年地域の海洋性スポーツクラブとして発足。以来、20年間以上にわたり、セーリングボート（ヨット）やカヌー、水泳教室など海洋性スポーツを通じて、知的な障害を持つ子供たちも含め、地域の子供達の健全育成に継続的に取り組んでいる。 市民を対象にしたカヌー教室では、市民の生涯スポーツの普及に取り組むなど、地域の海洋性スポーツの拠点づくりにも貢献している。また、海洋センターの維持管理。海岸や河川の清掃及び森林保護のボランティア活動など、環境保護活動にも積極的に参加している。</p>
116	福井県	祥穂会	<p><b>【健康運動教室】</b> 健康運動教室を行うことにより、下肢筋力の強化につながり寝たきり等の予防に努める。</p>
117	福井県	虹の会	<p><b>【地域の小学生を対象とした福祉教育について】</b> 地域の小学生4年生2クラスを対象に、「障害とは何か、施設の役割とは何か」をテーマに、施設見学を通して、そこで働く利用者の作業を共に体験し、共同で地域の清掃活動に参加し、美化意識を養う活動を取り入れたり、小学生企画によるレクリエーション大会を実施するなど、児童が利用者と関わることで、障害者理解を図ることを目的に福祉教育を行っている。</p>
118	福井県	わかたけ部 共済部	<p><b>【(地域住民を対象とした)介護教室】</b> 地域の美容師組合にて介護教室を開催し、講師を派遣する。高齢者への理解を深めていただくと共に、車いすの操作、ベッドや車いすへの移乗、ベッド上での体位交換、ベッド上での洗髪、洗髪パッドの作り方等についての説明や技術指導を行う。</p>
119	福井県	わかたけ部 共済部	<p><b>【ふれあいサロン本多（認知症予防、健康、福祉について指導）】</b> 地域の高齢者の集い（いきいきふれあいサロン）の開催をデイサービスセンターわかたけにて実施。 月1回第2日曜日、AM10時～11時30分 健康体操、認知症予防ドリルなどを実施する。</p>
120	福井県	光道園	<p><b>【ボランティアスクール（中高生対象）】</b> 「共に生きる」をテーマとして障害を持っている方や露人との交流を通して、福祉に対する理解とボランティア活動のきっかけ作りを図ることを目的にして開催しています。ボランティアをしたいけど、よくわからない方、現在ボランティア活動をされている方、問わず、体験の場としてもご参加いただいています。 具体的にはガイドヘルプ講習及び視覚障害者付添支援実施。ミュージックケアをとおしてのかかわり。老人施設利用者とのゲートボール体験、盲聾の方とのゲーム、点字、手話講習等です。</p>

121	滋賀県	滋賀県 聴覚障害者 福祉協会	<p>【「手話タイム・プラスワン」(県広報)協力事業】</p> <p>○実施概要 びわこ放送において県政ニュースを手話と字幕で伝える「手話タイム・プラスワン」が放送されている。この番組に手話キャスター1名、聴覚障害者アシスタント1名、健聴者アシスタント1名を派遣すると共に、毎月「センターからのお知らせコーナー」と「手話教室」を設け情報を提供するなど製作協力を行いました。</p> <p>○実施内容 ・放送日時・・・毎週月曜日 21時15分～21時25分 ・派遣日時・・・毎週金曜日 9時30分～12時00分 ・収録場所・・・びわこ放送スタジオ ・派遣人数・・・1回につき、キャスター1名 アシスタント2名 *聴覚障害者4名、健聴者7名に活動をして頂いています。 また、「お知らせコーナー」「手話教室」の企画について製作協力を行っています。</p>
122	滋賀県	瑠璃光会	<p>【ことばの相談】</p> <p>言語機能に障害を有する方や嚥下機能が低下している方に言語聴覚士がご自宅や作業所を訪問して、ことばの障害状態の確認を行っています。</p> <p>その後は必要に応じて日常でのコミュニケーション方法の工夫や言語訓練また嚥下動作に関する相談や指導を行っています。訓練や助言が主な活動ですが、時には日常会話を楽しむことで「ことば」に対するストレスを発散しても頂いています。また、対象者の家族や周りの職員にも助言、指導を行っています。</p>
123	滋賀県	青祥会	<p>【介護無料相談の開催】</p> <p>広範な範囲の人が集まる大型スーパー2階の介護要用品売場で毎月第2日曜午後2時から5時まで「介護無料相談」を行っています。 1時間に1回ずつ、店内放送で「青祥会職員による介護無料相談・・・」と告知してもらっています。</p>
124	滋賀県	近江 ちいろば会	<p>【ボランティア育成の取り組み】</p> <p>平成18年度より、法人内にボランティアコーディネーターを設置し、地域のボランティアご希望の方と法人内の各部所との調整役を始めた。主な活動としては、 ①内容を一覧表にしたボランティア募集の案内を作成し、地域に配布。 ②ご希望者に面接し登録して頂き、法人内の適切な部所につなげるコーディネートの役割 ③「法人内ボランティア初めて講座」を月1回5回シリーズで開催し、地域の方に気軽に出入りし法人を知って頂く機会の企画。等である。</p>
125	滋賀県	志賀福祉会	<p>【ボランティア情報誌の発刊活動】</p> <p>施設職員と地域ボランティアの協働によって、高齢者福祉施設内外で、高齢期の人々の日常生活支援を行い、その模様を月1回施設ボランティア情報誌として発刊継続し、それにより特別養護老人ホームが地域公的社会的資源として親しまれ、大いに活用されまた、ボランティアとして活動の場を得ることで、会社人間であった男性諸氏や子育て終了後の家庭婦人が新しい人間関係を得て、健康的な中高年期を得る素因にしておられる。医院に勝る健康院の機能効果。</p>
126	滋賀県	志賀福祉会	<p>【知的障害者授産施設利用者との交流活動】</p> <p>知的障害者授産施設の利用者と、特別養護老人ホームの利用者の夏祭りでの交流また地元不動産管理者に対して草むしりの仕事を斡旋し、授産施設利用者の仕事の情報を流していただくように協力する。</p>
127	滋賀県	志賀福祉会	<p>【駅前清掃及び道路清掃活動】</p> <p>駅前清掃及び道路清掃</p>
128	滋賀県	志賀福祉会	<p>【介護者のつどい事業】</p> <p>介護者の心身のリフレッシュと介護者同士の交流の場の提供</p>

129	滋賀県	志賀福祉会	<p><b>【障害児サマースクールへのボランティア参加活動】</b> サマースクールでは、障害を持つ子供たちが学校のない夏休みの間も、有意義な生活を続け、地域に根ざした生活を築き上げていけるよう、保護者と共に考え取組んで行く。</p>
130	京都府	みねやま福祉会	<p><b>【認知症老人家族の会「こすもすの会」】</b> 認知症を持つ人に対する介護は他人には理解してもらえにくいことから問題を家族内で抱えてしまうことが多く孤立してしまいがちになります。家族が集まり、話しをしたり勉強をすることで家族だけで悩んでしまうことなく、認知症を理解し共に励ましあう場として自主的な組織となることを目指しています。</p>
131	京都府	みねやま福祉会	<p><b>【こころとこころのパイプライン 虹】</b> 当園のスーパーバイザー（臨床心理士）は不登校や引きこもり、その他様々なこころの問題を持つ方の相談支援を行っています。しかし、非常に広い地域の方が相談に訪れるため、定期的にカウンセリングルームまで足を運ぶことが困難な方もおられます。カウンセリングルームまで足を運ばなくても継続したケアが行えるよう、当園に近い地域の方には当園の場所を提供し、臨床心理士の指示の下、職員が箱庭療法等の実施、来談者の状況の把握など臨床心理士との橋渡しの役割を行いながら来談者のこころの回復を願うものです。</p>
132	京都府	松寿苑	<p><b>【ふくしのえき広小路】</b> 「ふくしのえき広小路」事業内容  <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談受付 月～金 10:00～15:00</li> <li>・福祉専門相談 金 10:00～15:00</li> <li>・メール箱設置（質問やご意見を受け付け翌日に連絡する。）</li> <li>・交流スペースの活用（おしゃべり、交流の場等として活用いただく）</li> <li>・松寿苑情報掲示・展示</li> <li>・松寿苑各サービスの紹介</li> <li>・松寿苑サービスご利用者の作品展示 など</li> </ul> </p>
133	京都府	淀福祉会	<p><b>【学童保育時間（PM6:00）終了後における預かり保育】</b> 常に安心して子育てができる、安心して仕事ができることをモットーにして時代とともに柔軟なサービス対応に心がけることを念頭にしています。 延長保育、障害児保育、一時保育を地域のどの保育園よりも先駆けて行い、特に働く母親の身になって安全、安心の上に信頼を得ています。</p>
134	京都府	京都基督教福祉会	<p><b>【障害児地域支援】</b> 地域支援活動  <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達相談（発達検査、行動観察等からの助言）</li> <li>・関係機関（保育園、幼稚園、学校、施設等）と保護者との調整、助言</li> <li>・施設開放（お遊び会）</li> <li>・啓発活動（職員研修等の講演）</li> </ul> </p>
135	京都府	カトリック教徒司教区カリタス会	<p><b>【日本児童養護施設インターンプログラム実習生受入の基本】</b>  <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際協力は可能な限り実行する</li> <li>2. 職員は実習生と児童の関係を直接取れることと仲立ちをすること</li> <li>3. 実習生には寝食を保証すること</li> <li>4. 実習は児童を中心に生活に関わること</li> <li>5. 実習生は日本語の会話を努力すること（大学で日本語科の修得を1年以上すること）</li> <li>6. 施設での生活時間は週5日。2日間の休日はリラックスをして欲しい。京都は歴史都市で「日本の文化と歴史を学ぶ良い場所。良いチャンスなので自由時間を利用して欲しい」</li> <li>7. 園長職員は実習時間内であっても研修ということで行動を共にすることが出来る。</li> </ol> </p>
136	京都府	カトリック教徒司教区カリタス会	<p><b>【地域クリスマス会】</b> 事業名 京都聖嬰会地域クリスマス会 プチジャン司教（キリスト信者発見）はフランスにある幼きイエズス修道会総長にシスターを日本に派遣してくれるよう頼んだ。シスターたちは50日</p>

			<p>かかって船旅の後、神戸に上陸した。3日後、赤ちゃんを受け入れたのが福祉の始まりです。聖嬰という字は聖なる嬰児イエズスを意味しています。</p> <p>12月25日はクリスマスです。聖劇を通して救い主イエズス・キリストの御降誕の本当の意味を知っていただけたらと思っています。聖嬰会の子ども、職員にとって唯一感謝の心で交流できるのが2日早いのですが、12月23日です。</p>
137	京都府	京都社会事業財団	<p><b>【子育て支援活動】</b></p> <p>母親の子育てによる「心的なつらさ」の軽減を目的とするとともに、参加者による地域交流の場へとつながることを目指し、母親を応援する事業となるよう取り組んでいる。</p> <p>活動時、スタッフは参加者である母親たちの子育て方法について批評や口出しはせず、一緒に来ている子ども達が自由に楽しく遊べるよう手伝いをする中で、親同志の会話が弾むように努めている。</p> <p>気楽に多くの方に参加していただくため、カリキュラムは作らず、欠席も自由である。</p> <p>費用は無料。</p>
138	京都府	京都府社会事業団	<p><b>【ひだまりの会】</b></p> <p>洛南寮の開設は昭和22年で、当時は社会福祉関係法は旧生活保護法のみであり、その中に養老院・救護施設の設置条項がありそれに基づいて「洛北寮」として寮施設併設で京都市左京区でスタートしました。</p> <p>昭和35年、京田辺市茂ヶ谷に移転「洛南寮」となり、更に昭和57年に現在地京田辺市大住に移転し、同時に京都府社会福祉事業団に管理運営が京都府から委託されました。なお、建築に着手するまで、地元で賛否両論がある中で、いろいろと折衝の経過はありましたが、現在では、寮で開催します「春まつり」「夏まつり」「敬老のつどい」等には地域の方々、ボランティアの方々の参加を得て盛大に実施しており、地域の理解も深まり、地域に定着しております。そして交流の対象も高齢者の方々から、中学生、小学生、保育園児と幅広く、また地域のボランティアにさまざまな場面で協力いただいております。なお、平成18年6月1日からは、京都府の指定管理者として管理運営しています。</p>
139	大阪府	大阪府肢体不自由協会	<p><b>【自助具の製作・普及啓発活動】</b></p> <p>医療関係者・各種の熟練技術者・教員・OL・家庭の主婦など約30名のボランティアグループ「自助具の部屋」では、からだの不自由な人たちの日常生活の中での不自由を補い、少しでも自分でできるように使う人の障害に合わせて工夫した道具である「自助具」を約25年間に3,000点余りを製作して障害者や高齢者に提供している。また、自助具の普及を目的として自助具・福祉機器に関する情報の収集・提供・相談や講習会・講演会などの活動を全国的な規模で幅広く実施している。</p>
140	大阪府	大阪府肢体不自由協会	<p><b>【肢体不自由児者の社会参加促進事業】</b></p> <p>肢体不自由児者の自立と社会参加を促進していくため、協会設立当時から約50年にわたって各種のレクリエーション事業や文化活動等を実施するとともに学生や社会人によるボランティアグループを育成して当該事業の支援を行っている。</p> <p>(主な事業)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①フレンドシップキャンプ</li> <li>②雪あそびのつどい</li> <li>③レクリエーションのつどい</li> <li>④クリスマスキャンペーン</li> <li>⑤作品展</li> <li>⑥絵を描く会</li> <li>⑦結婚相談事業</li> <li>⑧肢体不自由高校奨学金</li> </ol>



141	大阪府	大阪自彊館	<p><b>【こどもをみんなでまもろう今宮地域安全パトロール隊】</b> 当法人が所在する小学校区児童の安全確保のため、定時に校区内を自転車で巡回パトロールをしている。また、学校の校門前の立番もしている。 救護施設 白雲寮・甲子寮、身体障害者療護施設及び事務部門の職員約 170 名が交替で参加している。 月～金曜日、下校時の 15:00～17:00 に 1 組 2 名で 30 分毎×4 組で実施。</p>
142	大阪府	大阪自彊館	<p><b>【地域相談室】</b> ①社会的援護を必要とする独居老人への生活援助、介護保険非該当、認定前の独居老人に対するサービス内容、買い物、掃除等の家事援助、公的機関、医療機関、金融機関等への連絡や付き添い、安否確認や話し相手、介護保険利用の相談や、介護事業者への橋渡し等 ②相談機関としてあそこへ行けば話し（相談）が出来るをモットーによろず相談所を目指しています。</p>
143	大阪府	美 移 園	<p><b>【地域支援講習会】</b> 地域における高齢者福祉推進並びに、当共同生活住居が地域に開かれた住居となるために、高齢者の様々な問題や情報を伝え理解して頂くために、地域の方々にセミナーや講習会を無償で行う。</p>
144	大阪府	大阪福祉事業財団	<p><b>【母と子の教室】</b> 「子育てで悩んでいる」「友だちがいなくて・・・」という子育て中のお母さんと子どもを対象にした教室。プログラム(6月～1月 年8回)によって親子いっしょの日と子どもは保育体制をとり、お母さん同士で学び交流する日とがある。</p>
145	大阪府	大阪福祉事業財団	<p><b>【赤ちゃん教室 サークルすみれ仲間】</b> 地域の 0 才児の赤ちゃんをもつお母さんが保育園に来て、赤ちゃんとのふれあい遊びを楽しんでいます。子育てに役立つミニ学習や親子での半日体験入園、わらべうたあそびやお母さんのクッキングなど家庭のお母さんたちの要求に応える形で内容を工夫しています。 1、2 才児の子ども対象には、園庭開放を行い、保育園の道具を使い、保育園ならではのあそびの提供や親子の交流を楽しんでいます。</p>
146	大阪府	大阪福祉事業財団	<p><b>【すみれ老人大学】</b> 「高齢者のいきがづくり」と「福祉地域の担い手養成」のため、毎週 1 回講座を開催し、地域の高齢者の方に受講していただいている。学期を 3 学期制に区分し、2 年で本科修了、もう 2 年受講していただいた方には、研究科修了という形で、4 年生の大学の体裁をとっている。希望者には、卒業後の聴講を受け付け、学び続けたいというニーズに応えている。福祉、健康、いきがいの 3 つの講座を中心にカリキュラムを編成し、運営。</p>
147	大阪府	大阪福祉事業財団	<p>保育園の施設や子育てのアドバイザーとしての保育士や同年齢の園生活をしている園児を通じて、地域の子育て中の父母への子育ての援助をできる活動として「園庭開放」「親子教室」を行っている。 また、「電話相談」（子育てへのアドバイス、入園の相談など）「緊急入所」「0 才児年度途中入所」を行っている。「地域のおとしより（デイサービスサービス利用者）との交流」も今年度から実施します。</p>
148	大阪府	成 光 苑	<p>岩戸ホームを発地とし、市内総合病院、ショッピングセンター、市役所、駅を巡回している。車輻は 29 人乗りのバスを使用し、月～金曜 1 日 4 往復運行している。料金は無料。「岩戸ホーム福祉バス」の名称で親しまれ、地域になくはない事業となっている。</p>
149	大阪府	成 光 苑	<p>サンヒルズ紫豊館に入所されているご利用者と地元小学校との交流を目的に小学生を対象にしたボランティアの受入を行っています。小学生とご利用者がいっしょに話しをしたり、ゲームをしたり、物作りにも取り組んでいます。 6 月は、石臼を使ってきな粉作りに挑戦、悪戦苦闘しながらも昔の作り方でおいしいきな粉が出来ました。利用者は昔を懐かしまれ小学生や職員は初めての体験に感動を覚えました。</p>

150	大阪府	成光苑	<p>1. 地域団体（自治会、婦人会、老人会など）との交流の輪を常に広げ貢献活動の企画・実践をはかる</p> <p>2. 中学生の体験学習の趣旨に賛同し協力する</p> <p>3. 大学生のボランティア活動の受け入れをする</p> <p>4. 園周辺及び近隣公園の除草、清掃活動に取り組む</p> <p>5. 老人会と園児の交流のため自治会館にて交流会を持つ</p>
151	大阪府	成光苑	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ニーズへの対応</li> <li>世代間交流 A 独居老人宅訪問</li> <li>世代間交流 B 楽しく遊ぼう</li> <li>・福祉教育・人材育成</li> <li>ボランティアの受け入れ</li> <li>中・高校生の職業体験学習の受け入れ</li> </ul>
152	大阪府	成光苑	<p><b>【当園周辺の美化活動】</b></p> <p>1. 園周辺道路の清掃（週に2～3回）</p> <p>2. 近隣の公園清掃（年に3回位）</p> <p>3. 地域の公設事務所などや近隣の希望される所へミニトマトの成木、バケツ栽培の稲や花苗などをプレゼントする</p>
153	大阪府	成光苑	<p>9月より地域の公民館で行われている子育てサロンのお手伝いに保育士を派遣する計画を進めているところです。</p>
154	大阪府	成光苑	<p>地域子育て支援活動、保育サークルへの保育室の開放</p> <p>隣接する第二愛育園と合同する形で、地域の保育サークルや子育て支援活動の場として保育室を提供している。</p>
155	大阪府	成光苑	<p>地域の高齢者の方々に生きがいづくりと趣味の発表の場となるよう、文化祭（SAKURA フェスティバル）を開催し、企画、実施。</p>
156	大阪府	成光苑	<p>月1回の自治会の参加。また春先には植木の植えかえなどの緑化運動、年末には夜中に夜まわりなどの地域活動に参加している。また地域行事の夏祭りや餅つきは入所しているお年寄りも一緒に参加して楽しまれている。</p>
157	大阪府	成光苑	<p>地域の新聞社との協力による介護情報の掲載したミニコミ誌を地域へ配布。</p>
158	大阪府	成光苑	<p>春と秋の年2回地域のスーパーマーケットに出向き、介護相談や筋量測定を実施。</p>
159	大阪府	成光苑	<p>近隣地域との共同事業により、一人暮らしの高齢者に施設に来てもらい、食事を提供。パワーリハビリ機器を活用し、介護予防に繋がることを目的とした取り組みを実施。</p>
160	大阪府	恵和会	<p><b>【地域ネットワーク】</b></p> <p>民生委員や社協、行政機関との調整を図り地域に暮らす方々の良き相談相手であるばかりでなく高齢者の孤独死や配偶者等からの暴力といった新しい社会的課題に対し解決にむけた取り組みを行っていく。</p> <p>又、高齢期の認知症についての知識の普及や地域のゆるやかな見守り体制を行うことにより地域への信頼や安心感を支援していき、総合的な支援機能を備えた地域福祉推進の中核機関としての役割をはたします。</p>
161	大阪府	こころの家族	<p><b>【地域介護教室の開催】</b></p> <p>地域への情報提供や啓発を目的として、自治会、老人会などの各種団体や個人を対象に、介護保険、介護技術、介護予防、転倒予防教室を開催する。</p>
162	大阪府	こころの家族	<p><b>【ボランティア勉強会】</b></p> <p>小地域ネットワーク活動のスタッフに知識や技術の向上とやりがいを持って活動を続けて頂くことを目的に、制度や認知症、生活習慣病、介護技術等について、地域にあるグループホーム、障害者施設など関係機関や地域から講師を招き勉強会を開催する。</p>
163	大阪府	晴誉会	<p><b>【地域子育て支援・地域貢献活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭開放</li> <li>・保育体験</li> <li>・乳児親子教室</li> <li>・地域中学校の保育体験授業受け入れ</li> </ul>

164	大阪府	堺福社会	<p>地域住民からの相談に対して、自宅を訪問して説明を行ったり、必要な機関と連携をとりながら、問題が解決するよう努めている。セルフネグレクト等のケースに対しては定期的に訪問し、安否確認を行う事も多々ある。</p> <p>その他にも小地域ネットワーク活動に毎回参加し、高齢者に関する情報提供を行ったり、レクリエーションを実施している。施設独自でも介護予防に関する教室を開催することで、地域住民へ介護予防の意識の啓発に心掛けています。</p>
165	大阪府	隆生福社会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティア受け入れとボランティア交流会の開催</li> <li>2. 施設見学会の開催</li> <li>3. 高齢者疑似体験教室の開催</li> <li>4. 子育てサロン・子育てサークルへの会場提供と支援</li> <li>5. 知的障害者のボランティア活動受け入れと業務委託</li> <li>6. 法人行事等への地域住民招待</li> <li>7. 近隣の教育機関との交流</li> </ol>
166	大阪府	高屋福社会	<p><b>【園開放】</b></p> <p>月1回ずつ定期的に地域の在宅育児支援を目的として、親子体操と親子英語教室を開催し、互いのコミュニケーションの場を提供し、また育児相談を受け付ける等しています。この他にも毎週2回火・木曜日には園庭の遊具を開放し、その資源を地域の育児支援に資する所です。</p>
167	大阪府	大恵会	<p><b>【岸和田いきいきネット相談支援センターいなば荘】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時出張相談の開催</li> <li>・関係機関の連携</li> <li>・社会資源の提供</li> </ul>
168	大阪府	日本 ライトハウス	<p><b>【相談支援事業】</b></p> <p>視覚に障害のある方々及びその家族、地域の支援者などを対象に電話又は来所での相談を受け付けています。相談では生活関連から就労、制度、補助具など視覚障害に関する様々な課題について対応しております。</p>
169	兵庫県	種 の 会	<p><b>【専門職員の専門性を地域に還元】</b></p> <p>2002年4月、神戸市灘区のHAT神戸にはっと保育園は誕生した。HAT神戸は、阪神淡路大震災後の震災復興モデル地区として整備された新しいまちである。はっと保育園では地域への子育て支援の一環として、この地域に住む1~2歳児をもつ親子を対象に「保育体験」事業を独自に実施している。この事業は、保育所を利用していない地域の親子が実際に朝から昼食までの時間を保育所の中で過ごし、肌で体験するというものだ。1日1クラス2名までの限定で、希望者には事前申込をしてもらい、1回200円の利用料をもらい実施している。この事業で注目すべき点は、利用条件として、子どもが保育所で過ごしている間、その親も子どもと一緒に時間を過ごすこととしていることだ。参加する親は、実際に自分の子どもが他の子どもたちと過ごす姿を見つめながら、改めて子どもの「個性」を知ることには重点を置いている。この保育体験事業が、単に親の子育て軽減だけをはかることを目的としていないことに注目する必要がある。</p> <p>また、この保育体験が終わった後、必ず親と主任保育士とが振り返りを行い、必要があればそれをもとにミーティングを行うというフォローまで行っている。保育士との対話をとおして、わが子の新たな一面に気づく契機となるだけでなく、今まで抱えていた子育てに関する悩みやとまどい、苦しみ等を打ち明け、自分の中の課題に気づくことにつながる。また、保育士より必要に応じてアドバイスを受けることで、親としての自覚の再認識や子育てへの意欲の向上など大きな効果を生んでいる。話し合う過程において、保育士は専門的立場からの援助を行うことにより専門性がより高められるし、親は「親」としての育ちの機会となり、結果として、双方の育ちの場となるのである。</p>

170	兵庫県	本覚寺苑	<p><b>【施設が地域活動拠点として機能】</b></p> <p>施設を一步出るとのどかな田園風景も見える、そんな町並みの中にある山彦ホームは、姫路市において昭和 50 年に開設された。このホームでは、開設当初より地域交流とボランティア活動の推進を積極的に展開している。</p> <p>ホームではこれら活動の一環として、地域のひとり暮らし高齢者を対象に陶芸教室や手芸教室、音楽療法を用いた集いなどを開催している。参加している地域の高齢者にとっては新たな仲間づくりの機会にもなり、このようなセルフヘルプ的な活動は参加者からも概ね好評である。月に 2、3 回のペースで開催されているこういった活動は、施設が日常的に地域とつながりを持つ上で非常に重要な意味を持つ。</p> <p>また同法人では、山彦ホームから少し離れた場所に平成 12 年から認知症高齢者のためのグループホーム「みろくの里」を設立し、運営している。そして、このみろくの里でも地域住民を対象に（しかも利用者と一緒に！）音楽療法と回想法を組み合わせたプログラムを実施している。</p> <p>ホームには地域住民から近所の畑を無償で貸与したいとの申し出が寄せられるなど、山彦ホームのこれまでの実践が地域とグループホームの距離を非常に近づけていることがうかがえる。近年、グループホームの「地域孤立」がしばしばとりざたされているが、ここではそういった問題とは無縁のようだ。「山彦ホームが運営しているのなら安心だ」、そんな声が地域から自然に出てくるのは、施設が地域の福祉資源として自然に受け入れられている証拠だ。このような地域に対する地道な活動実践が認知症高齢者を受け入れることのできる地域の福祉土壌を育むことにもつながっていった。</p>
171	兵庫県	神戸聖隷福祉事業団	<p><b>【要援護者と防災を考える会】</b></p> <p>神戸聖隷福祉事業団（ひょうご障害者地域生活支援センター）が参加する兵庫区障害者支援ネットワーク会議において、阪神・淡路大震災の際、障害者が避難施設で受け入れてもらえなかったケースや障害者自身も「どこに避難すればよいかわからない」という方がいたことから、障害者向けの避難計画が必要ではないかとの意見があった。その後、ネットワーク活動の一つとして、検討委員会「要援護者と防災を考える会」（以下、「考える会」）を開催することになり、行政においても出来る限り協力する旨が確認された。</p> <p>また、考える会では、区内の障害者避難可能施設の調査や災害情報の伝達方法、避難場所の情報提供方法等の検討を行い、経費は、神戸聖隷福祉事業団が負担することとした。検討された内容は「要援護者と防災を考える会 2005 年度報告書」としてまとめられた。現段階では不備な点も多く、18 年度は防災マップの充実、地域の人々への啓発活動を実施しながら、より充実したよう援護者防災支援計画を検討している。</p>
172	兵庫県	フレンド	<p><b>【相談・マネジメント・ネットワークの形成】</b></p> <p>フレンドの前身にあたる「F の会」は、平成 5 年に市の作業委託を受けた神戸市北区所在の 4 つの知的障害者関係施設（上野丘更生寮、ヨゼフ寮、陽気寮、はっち作業所）によって組織化された団体である。F の会では除草作業等を行い、知的障害者の就労実習の機会として大きな役割を果たしてきた。これらの事業を通じて、F の会では、地域における障害者の相談支援の必要性と就労に関する支援体制の強化を痛切に感じたという。そこで、F の会に所属する社会福祉法人 3 団体（上野丘さつき会、ヨハネ会、陽気会）が出資しあい、社会福祉法人フレンドを設立した。また、その際、社会福祉法人緑水会も参画し、稀にみる社会福祉法人間の協働による法人設立という取り組みが誕生した。</p> <p>自分たちのまちの社会資源や活動できる機会や場所といった情報を基に、ライフプランを組み立てていく上で相談活動は入口となり、ニーズ把握や具体的なサービス開発のきっかけとなる。障害者の地域</p>

			<p>生活移行が進む中、福祉サービス事業者は「その人らしい生き方」を相談活動やサービス提供を行う中で見出し、生活支援を行うことが重要だ。必要であれば、フレンドのように社会資源を開発し、ネットワークを形成する。その人にあったケアマネジメント・相談支援を基本としながら、事業者自身の専門性を発揮することが求められる。</p>
173	兵庫県	山路福祉会	<p><b>【縦割りを脱した当事者への支援】</b></p> <p>心の病を抱えた方の小規模作業所「ひなたぼっこ」は、「木の根会家族会」を母体として丹波市内でリサイクル店を営んでいる。このグループのメンバーは寛解期にある人たちで、丹波市の特別養護老人ホーム山路園の施設内において、移動喫茶の活動を展開している。</p> <p>山路園での活動は平成14年に遡る。当初は月1回、施設のロビーにて喫茶コーナーを設置し、施設利用者に対してコーヒー、お菓子を提供していた。しかし、ロビーまでは出てくることができない利用者からは居室まで訪問して欲しいという要望が出ていた。</p> <p>平成15年度から、同園では旧来の施設を3つの生活圏域（ユニット）に分けたユニット的ケアの取り組み実践が開始された。この頃、グループのメンバーの活動意欲が増したことにより、ロビーの活動ではなく、各ユニットに訪問する形になり、現在では、活動日数も週1回（月4～5回）に増えた。</p> <p>山路園の職員は、同グループのメンバーの活動を見守り、必要に応じてメンバーのサポートを行っている。また、喫茶に必要な資材はグループが用意しているが、山路園では移動用のワゴンやポットといった機材の貸与などを行い、グループが活動しやすい環境を提供している。高齢者への支援を主としていた法人は、こうした取り組みを機に、障害という分野への支援に携わることとなった。「高齢」「障害」といった縦割りは「地域住民」への支援という考え方により解消された。障害者自立支援法成立により、ますます重要視されることとなった障害者の就労支援に対し、今ある活動の延長線でサービスを開発した試みの意味は大きい。</p>
174	兵庫県	ほっ と スマイル	<p><b>【住民自らが社会福祉法人を設立】</b></p> <p>西宮市北部にある自然豊かなベッドタウンの地に、平成17年4月、「東山ぼぼ保育園」は誕生した。同園を運営する社会福祉法人ほっとスマイルは、平成17年3月に認可された新設法人である。これまで、この東山台地区には保育所がなく、住民からのその設置を要望する声が高まっていたが、社協東山台分区、自治会連合会をはじめとした地域団体が西宮市へ要望書を提出するなど活動を続けた結果、平成15年、同地区に保育所を新設する方針が市側より示された。</p> <p>設置を予定された場所は、当時資材置き場ようになっていて、日当たりも悪く、園庭もないので保育所には向かなかった。また、便利な場所なので他の用途に使いたいという方もいた。また、そんなところに保育所ができれば、送迎などで違法駐車が増えるのではないかとこの反対の声もあり、これは住民合意を得る必要があった。保育所の設置については、住民ひとりひとりが自分たちの暮らす地域の問題として協議する場が必要だと感じ、具体的な議論を進めていく、地元9団体で構成する「まちづくり工房」を立ち上げた。まちづくりの視点から保育所開設について住民が集まり協議する場として活用していくことになり、保育所のしくみや制度などを一から学習し、協議を重ねていく中で、この保育所は住民の力で立ち上げ、運営したいという声があがり、社会福祉法人の立ち上げについて具体的に話しが進んでいったという。</p> <p>しかし、住民自身による法人運営に不安はなかったのだろうか。「できるかどうか、何の根拠もありませんでした。ただ、私たち住民がやるしかないという強い思いだけはありました。違法駐車の問題も法人の中心的な課題の一つとして、住民とともに取り組んでいきました。不安もあったが、無事に開園の日を迎えることが出来ました」と理事長は語る。</p>

175	兵庫県	愛 心 会	<p><b>【法人内に課題別委員会を設置】</b></p> <p>神戸市北区の鹿の子台では、平成13年からふれあいのまちづくり協議会が主催で、地域の乳幼児をかかえる親子を対象とした「バンピッ子クラブ」を地域福祉センターで毎月開催している。平成17年度から、開催時には愛心会が運営する「星の子保育園」から2名の保育士が派遣され、そこに参加する地域の子育て中の親子と一緒に保育所での遊びや様々なレクリエーションを行う。大変好評で、参加者も広がりを見せているという。保育士にとっても、自らの専門的なスキルを地域の中で生かすことができ、またそのかわりを通して、地域の中で学び、成長できる新たな気づきや発見の場ともなっている。法人自らが地域へ出向くことによって、地域の中にある潜在的な子育てニーズを引き出している。また、愛心会では、法人理事に地域住民代表も参画してもらうなど、法人内にも地域住民の声が反映されるしくみをもっている。地域との信頼関係を築きながら、地域にある子育て専門機関であることを地域住民に知ってもらうことにも熱心だ。</p> <p>星の子保育園には、保育所全体の問題を課題別に検討するために、5つの委員会を設置し、常にサービスの向上に向けた取り組みを行っている。この委員会には、各職員が必ずいずれかの委員会に所属する。委員会ごとに毎月集まり、活発な議論を行うなど、職員自身が主体的に運営している。各委員会で出た意見は、職員会議でさらに全体共有し、解決に向けた取り組みへとつなげていくという試みだ。保育所を支える職員ひとりひとりが自らのスキル向上に取り組みながら、保育所としての機能の向上に努めている。それは、ひとえに地域の中にある専門機関としての役割を担うためである。</p>
176	兵庫県	桜 谷 福 社 会	<p><b>【ボランティア養成講座の開設】</b></p> <p>桜谷福祉会では、約1年間をかけて地域貢献推進事業にむけて、住民アンケートや地域密着型のボランティア講座立ち上げのための検討会議を開催した。検討会議には、市社協、地元自治会等も参画の上で、協議を進めた。会議の中で出てきた地域福祉課題として、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者、障害者が孤立している。また当事者の実態も十分つかめていない（防災の観点から、いざという時の体制整備が必要）</li> <li>・いきいきふれあいサロンを自治会レベルで開催しようと呼びかけているが、担い手がなく伸び悩みが課題。桜谷荘のエリアは1ヶ所しかない。</li> <li>・介護保険の報酬改定で、ショートステイの利用率が下がり、家で介護する時間が増えた。特に、認知症高齢者を抱える家族のストレスは大きくなり、また、当事者も居場所がなくなり困っている。地域での居場所が作れないか。</li> </ul> <p>といった意見が出た。こうした課題の解決策として、17年度は、現在、地域づくりの一環として定着してきた「いきいきふれあいサロン」をテーマに、「いきいきサロン支援隊」と称して、地域密着型ボランティアの養成を開催することとなった。また、その中で①誰もが参加しやすい研修にする、②桜谷荘が持つ、高齢者介護に関する情報を提供する機会とする、③年間3回程度で講座実施後、参加者の要望を踏まえて研修を改良する、等が確認された。</p> <p>開催にあたっては、地元民協、市社協、自治会等に協力を求め、協議を進めながらプログラムを組み立てていった。ボランティアについての基礎講座をはじめ、外出介助やレクリエーションについて等、具体的な企画内容となっている。</p>
177	兵庫県	育 世 会	<p><b>【地域福祉推進計画の参画】</b></p> <p>淡路島南部に位置する三原郡緑町は淡路島中心地である州本市に隣接し、企業誘致の成功などにより比較的豊かな自治体として繁栄してきた町である。ところがここ数年、大企業の撤退や三原郡合併論議などを原因として住民の生活に対する不安感が日増しに高くなってきた。このような背景の下、緑町社協では昨年より住民や関係機関が</p>

			<p>中心となって地域福祉推進計画策定に取り組むこととなった。児童養護施設「淡路学園」もこの策定委員会のメンバーとして積極的に関わり、住民に対する意識調査の実施、当事者を招いてのヒアリングなど、地域の実態把握や住民・当事者の思いに耳を傾けてきた。策定委員である職員は「これまで施設では子育て中の親のニーズや思いを十分に聴く機会が少なかった。この策定委員会に参加し、地域に対して児童養護施設の専門性（経験・ノウハウ）の発揮と地域の子育て支援の拠点としての役割の必要性を改めて感じた」と語る。社会福祉施設が計画策定にかかわることにより「これから施設自身が何をすべきか」を実感として感じ取っていったという。</p> <p>淡路学園では計画策定過程で明らかになった「子育て中の親」に対する情報提供の少なさ、親同士の交流機会の必要性などにどう施設が対応していくか、今後の児童養護施設としての展開視点・方策として「親子の居場所づくりと仲間づくり」「当事者の情報提供」「子育て支援の各関係機関、団体のネットワーク化」など、子育てに関する環境・支援システムを構築していくを検討していく予定である。施設のもつ専門性を地域資源として、様々な子育てや児童虐待等に対する課題・ニーズに対応し、地域の子育て安心拠点として役割を発揮する。</p>
178	兵庫県	樫の木福祉会	<p><b>【まちづくり協議会への参画】</b></p> <p>「幸い地区の中に、『樫の木福祉会』という福祉施設があり、この施設と連携を取ることによって、地域農業の特徴づけや、新たな特産品の育成といった可能性が開かれています。また、施設との交流活動を通じて、住民同士のふれあいや地区を訪れる都市住民とのふれあいやづくりもできることと考えています」（「神戸南下里づくり計画」より一部抜粋）</p> <p>神戸市西区にある社会福祉法人樫の木福祉会は、昭和40年に発足して以来、常に地域と連携・協働を進めることにより法人としての存在価値を模索してきた。上記の計画は、施設のある地域で設立された里づくり協議会が策定したものであるが、計画の随所に「福祉施設との連携、交流」といった文言が記載されており、法人施設の地域に根ざした現状がうかがえる。</p> <p>知的障害者授産施設「ゼノの村」では、平成8年から地域の休耕田を借用し、青ねぎ栽培を実施、中央卸売市場等に出荷してきた。里づくり協議会設立の話があったとき、「施設が重要な地域資源として、単に箱的資源のアピールではなく、知的なハンディがある人が地域農業に携わることによって施設利用者という視点から『〇〇さんという固有名詞』として地域の人々に認めてもらえる機会になるのではないか」。そう考え、積極的に会へ参画した。また3年前から『西区市民参加による障害者安心ネットワーク』という障害者のネットワークの動きが進められている。このような取り組みや地域イベントへの参画にも積極的だ。</p> <p>今後の法人施設の展開視点として、地域に暮らす者として、あいさつやお礼、お祝いやお悔やみといった経験を重ねていく機会の提供や、昔から地域住民によって守られてきた景観維持への参画等、まだまだ法人施設が取り組むべき視点は多い。今後はそうした視点や地域のコミュニティビジネスとしての視点を意識しながら展開していく予定だという。</p>
179	兵庫県	三光事業団	<p><b>【地域での権利擁護システムづくり】</b></p> <p>西宮市鳴尾にある児童養護施設三光塾は、地域の様々な資源を巻き込みながら、新たなネットワークを生み出し、その輪を広げていく活動にも熱心に取組んでいる。</p> <p>平成11年、阪神間6市1町を中心に子どもの虐待防止活動に取り組む民間団体、「阪神子どもの虐待防止ネットワークほっと」が設立された。</p>

			<p>さまざまな形で、虐待を受けている人々（子ども）のいのち、人権を守り、また、虐待の加害者となってしまう人々へのできる限りの援助を目的として、地域社会において子どもの養育、家族への援助にかかわる関係者、あるいは、医療、福祉、教育、司法の専門職・機関およびこの活動に賛同する人々約130人が会員として協力し、他機関との協力のもとに、子どもへの虐待の発見と防止、理解、啓発の活動を行うことを目的としている。児童養護施設などの施設職員や、学識者、教育関係者、マスコミ、行政など多様な専門家や地域住民など約130名が会員としてかかわる。「ほっと」では、概ね2ヶ月に1回例会を開き、子どもの虐待への理解、防止への取り組み、専門分野からの報告等を中心に講師を招いてレクチャーを受け、メンバー間の情報交換等を行っている虐待防止に向けた講演会の開催など地域への啓発活動にも積極的だ。</p> <p>また、ネットワークでは平成13年からは、週2回「ほっと電話相談」を実施し、悩みを抱える子育て中の親や子どもたちからの相談にボランティアの電話相談員が応じる。「ほっと」では、独自に電話相談員養成講座を開講し、子どもの虐待の現状やカウンセリングの基礎、ロールプレイなどのプログラムを行い、適切な相談員の確保にも力を入れている。地域のネットワークが持つ機能と施設が持つ専門的機能をつなぎ、あわせながら地域をささえている。</p>
180	兵庫県	桑の実園 福祉会	<p><b>【巡回バス運行事業】</b></p> <p>兵庫県の南西部に位置する旧龍野市は、城下町の面影を残し「播磨の小京都」と呼ばれる。温暖な気候と豊かな自然環境により、手延べそうめんや醤油等地場産業でも繁栄してきた。姫路市にも隣接し、JR姫新線や山陽自動車道等もあり、市外とのアクセスは一定の便利さがある。しかし、市内では電車や路線バス等の公共交通機関は限られた地域にしか運行されておらず、路線から遠い地域に住む高齢者等が市内を移動する手段がないという課題があった。</p> <p>特別養護老人ホーム「桑の実園」では、地域の自治会に協力を仰ぎ、アンケートを実施して具体的なニーズの掘りおこしからはじめた。また、各地区の自治会や老人会、婦人会へ説明にも出向き、巡回バスの利用についてもPRをしている。巡回バスの事業化は平成11年。市役所や銀行、病院やスーパーなどを巡回するバスを、月曜から金曜の午前と午後コース別に運行している。一応の運行ルートはあるが、利用者の希望に合わせてケース・バイ・ケースで停車しているのが実情である。利用者のニーズに基づき、更に14年度から路線も拡張した。基本的な対象は高齢者だが、とくに限定はなく、利用料も無料としている。</p> <p>桑の実園は、地域の中から「いろいろなところに行きたいが、交通手段もなく、出て行くことが難しい」という声を聞き、それをもとに、住民と連携して「住民の移動権」を課題として事業化していった。これは、「法人は地域住民のためにある」という考えによる。普段から地域との交流には積極的で、これらの実践を通じて、地域から「見える」法人、地域住民が「安心拠点」として頼れる存在である、ということを実感し、理解を得ていっている。平成17年11月の市町合併や、今後の介護保険制度の改定等、法人・施設の置かれる立場や、環境は決して良いとはいえないが、桑の実園では、この事業の重要性を考慮して、可能な限り続けていく意向である。</p>
181	兵庫県	報恩感謝会	<p><b>【地域情報を適時適切に配信】</b></p> <p>神戸市西区にあるあさひ保育園・あさひ児童館では、日頃から川遊び等で利用している明石川のゴミの散乱を何とかできないかと思案していた。園児の保護者や地元の専門家を交えて相談した結果、「リバーレンジャー明石川（RRA）」が結成された。2年間の清掃活動の実績は地域に認められ、自治会や各種団体の参加にまで広がった。この他にも保育園・児童館では地元の祭りや行事の参加など、常に地域を</p>



			<p>意識した活動の展開を実践している。こうした活動は、毎月発行する機関紙やホームページなどによって地域に情報発信している。年に1回は職員が直接、地域の住宅を回り、情報紙を全戸配布している。明石川の活動もそうした情報発信を意識していたから地域に広がっていった。</p> <p>また施設では情報を集めるための努力も欠かさない。施設が地域の行事に参加しながら地域内ネットワークを構築していくことも情報収集には欠かすことができない要素だ。現在、兵庫県内で「情報」をシステム化し、社会福祉資源として活用している面白い試みがある。その名は「よい子ネット」。ラジオ関西と県、神戸市、姫路市の保育協会・連盟が契約を結び、県内の保育園と保護者を結ぶネットワークとして期待されている。</p> <p>保育園の専門ホームページから連絡ツールとして保護者あてに情報提供していく仕組みであるが、防犯・防災などの緊急の連絡にも活用できる。情報が直接、携帯電話にはいってくるので利用者にはタイムリーな情報提供システムとなる。「よい子ネット」は随時、情報をキャッチし発信していくことが鍵となる。時間が経つにつれて、その情報の価値は低くなる。要は情報のプライオリティ（優先順位）をいかに施設が考えるかが重要なのだ。今後、法人施設が「情報」をいかに地域の中で循環させて生きたものにしていくかを真摯に考えることが必要だろう。</p>
182	奈良県	飛鳥学院	<p><b>【不登校児童交流広場】</b> (活動の目的)</p> <p>平成15年度、「不登校」を理由に年間30日以上学校を欠席した児童生徒数は、全国の国公私立小・中学生合わせて12万6,212人にもおよんでいる。不登校の問題は、家庭内暴力や引きこもりなどと共に地域における社会的支援が必要な課題である。</p> <p>そこで、実際に不登校傾向のある子ども達への社会支援（自立支援）の一環として、不登校傾向のある子ども達がレクリエーションなどの活動を通して定期的に交流する場を設けることにより、子ども達の居場所を作り、社会復帰や自立の足がかりの場となるべく交流広場を開催する。</p> <p>(活動の内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①不登校傾向のある子ども達にレクリエーション活動を月2回行い、居場所作りと仲間作りを進めていく。</li> <li>②スタッフが子ども達の間に入り活動を促進することで、コミュニケーション能力を向上させる。</li> <li>③レクリエーション活動を通して地域に出ていくことで社会と交流する接点を設ける。</li> <li>④同じ立場の仲間がいることで社会に出て行く力を養い自立支援を行う。</li> <li>⑤不登校から引きこもり、ニートとならないように援助を行っていく。</li> </ol> <p>(延べ利用者数一年間) 200名（小学生－1名・中学生－8名・高校生－1名）</p> <p>(活動の成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達がフリースペースを自分の居場所や仲間づくりの場として認識するようになり、活動を楽しみに来るようになった。</li> <li>・活動に参加することで学校に定期的に参加できるようになった。</li> <li>・人との関わりが苦手だった子どもが友達と積極的に話すようになった。</li> </ul>
183	奈良県	飛鳥学院	<p><b>【奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」(児童虐待防止推進活動)】</b> (活動の目的)</p> <p>様々な形で、虐待を受けている子どものいのち、人権を守り、また、虐待の加害者となってしまう人々へのできる限りの援助を目的として、地域社会において子どもの養育、家族への援助に関わる関係者あ</p>

			<p>るいは、保健・医療・福祉・教育・司法等の専門職・機関およびこの活動に賛同する人々との協力のもとに、民間団体として、子どもへの虐待の発見と防止活動への支援を行う。又、同様に地域における子育て社会支援システムの構築についてその推進を図る。</p> <p>(活動の内容)</p> <p>①地域社会における、子どもの虐待防止に取り組むための継続的な啓発活動、研修活動を行う。</p> <p>②子育てのニーズに対応するために相談活動を支援する。</p> <p>③効果的な緊急対応ができる地域システムを作るために、日常的に関係機関との連携を図り、情報交換を行う。</p> <p>④対象ニーズに応じて、必要な援助の紹介を行う。</p> <p>⑤関係機関との協力のもと緊急の場合には危機介入できる体制づくりをめざす。</p> <p>(会員数一年間)</p> <p>250名(医師-20名・弁護士-10名・教員-24名・保健師、看護師-25名・保育士-30名他)</p> <p>(活動の成果・地域への影響)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県より児童虐待防止啓発活動・児童虐待防止対応マニュアルの作成・児童虐待防止研修会の開催等を事業委託され奈良県や各関係機関との信頼関係ができた。</li> <li>・「きずな」で講演会や事例研究会を開催することで多くの県民及び関係者に児童虐待防止に関心をもってもらった。</li> <li>・県下の市町村に要保護児童対策地域協議会(児童虐待防止ネットワーク)設立の必要性を働きかけた。</li> </ul>
184	鳥取県	あすなる会	<p>町内の県立高等学校の健康福祉コースの授業への講師派遣(3年生)。ホームヘルパー2級養成研修事業に関わる岩井あすなるでの介護実習(3年生)。施設、デイでの現場研修(2年生)。施設見学(1年生)。</p>
185	鳥取県	あすなる会	<p>岩井地区の一人暮らし又は老夫婦二人暮らしのお年寄りを新年会として施設に招待している。冬季積雪期で外出困難(とじこもり)、少数家族でのなべ料理は不向きなど考慮して、施設交流センターを利用し、手作りのなべ料理を囲んでの会食でもてなしている。食後は、カラオケ大会やわたがし作りなどをして楽しんで頂く。地域のボランティアにも協力を頂き、施設職員を始め、併設する支援センター、居宅介護支援事業所の職員も参加して、介護保険の話しや介護用品の説明を行う。</p>
186	島根県	島根県社会福祉事業団	<p><b>【高齢者料理教室】</b></p> <p>当園の食堂で近隣地域住民と利用者が一緒に管理栄養士を中心に高齢者の食べやすい食事づくりをし、同時にその協働作業を通じ交流を図ることを目的とし、定期的の実施している。この教室が地域の方に魅力あるものに発展し、ひいては地域開放の一助に繋がればとの願いを持って実践している。</p>
187	岡山県	旭川荘	<p><b>【講演会の開催】</b></p> <p>地域住民に対して、健康をテーマとして講演会を実施することで、安心して暮らせる街づくりの一助となれるよう取り組んでいる。</p>
188	岡山県	旭川荘	<p><b>【①「子育て広場よい川」 ②「三世代交流むつみの会」】</b></p> <p>①子育てひろばよい川では、子育て家庭に対する育児不安等についての相談指導、子育てセミナー、親子教室、遊び場の提供をすることにより、子育て家庭に関する育児支援を行っている。②三世代交流むつみの会では、幼児から高齢者を対象として地域性、公共性の高い事業を実施すべく「三世代交流むつみ会」をつくり、多世代の地域交流会を開催している。</p>
189	岡山県	共愛会	<p><b>【シニア向け介護予防フィットネス事業】</b></p> <p>シニア向け介護予防フィットネス事業では平日の夜、40歳以上の地域の方々に、介護予防プログラムを提供しています。プログラムの構成は、大きく3つに分かれており、エアロビクス、マシントレーニング、そして、プールを使ったアクアビクス。体組成計など専門機器によるボディチェックを行い、お一人お一人にあったプログラムを提供しています。</p>

190	岡山県	共愛会	<p><b>【地域交流レストラン事業】</b>  地域の方々や私たちの施設を訪問された方々に、実費に近い料金で食事を提供する。</p>
191	岡山県	共愛会	<p><b>【親子クラブ「たんぽぽクラブ」】</b>  ○親子クラブ「たんぽぽクラブ」  9：30～ 登園 シール貼り  10：00～ おやつ  10：30～ 遊び  11：30～ 降園  地域の子どもに、朝の集会や保育園の行事に参加してもらい、在園児との交流を深めたり、また、単独での活動を実施している。2名の保育士が担当し、月々の活動内容は、担当の保育士で計画している。お便りの発行による情報の提供もおこなっている。</p>
192	岡山県	経山会	<p><b>【講師派遣】</b>  地域社会への情報提供として、各種団体、個人を対象に介護保険や介護技術等の講演、技術指導を実施している。</p>
193	岡山県	鴻仁福祉会	<p><b>【音楽療法講座】</b>  毎月1回、3箇所（公民館②、公会堂①）において、古い歌を歌ったり楽器での演奏をし、楽しんでいただき、地域のネットワークづくり、また元気の源としていただいている。</p>
194	岡山県	三愛福祉会	<p><b>【福祉人材の養成、福祉教育の実践】</b>  ・ヘルパー2級、介護福祉士資格取得のための介護実習の受入  ・小学生、中学生の福祉体験の受入  ・教員になるための介護体験の受入  ・一般、学生のボランティアの受入</p>
195	岡山県	松園福祉会	<p><b>【大規模災害に対する復興救援活動及び地域機関との連携による高齢者安否確認】</b>  平成16年の大規模台風・高潮災害時の住宅損壊被害による一時避難、及び復興救援作業（職員派遣、車輛提供、ボランティアコーディネート、復旧ボランティアへの食糧提供）への従事。その後、地域の高齢者の実態把握をもとに災害時対応マップ（要援護高齢者世帯マップ）を作成し、地域機関への働きかけと連携（行政（市）、消防署、地元消防団等）により非常災害時に犠牲者が出ないための仕組みを検討。平成17年の台風・高潮災害時に災害時対応マップを地域機関において運用（一部）し、早期の安否確認及び避難の勧めをした。</p>
196	広島県	順源会	<p><b>【災害相互応援協定の概要】</b>  広島県経営協では、誰もが地域社会で安全・安心、そして快適で幸せに暮らし合えるために、県内の社会福祉法人全体の共通的な取り組みとして①社会福祉施設と地域住民及び市町村行政による「災害相互協定」の締結について、②社会福祉施設の「子ども110番の家」ステッカー設置等について</p>
197	山口県	朋愛園	<p><b>【介護者教室】</b>  施設の概要説明、館内見学を行う。また、質疑応答を行う。介護者教室の内容としては、リネン交換、車椅子操作等行う。</p>
198	山口県	豊北福祉会	<p><b>【地域住民のボランティア活動の支援】</b>  地元住民がボランティアで行う地域の高齢者のためのサロンのなデイサービスの援助や助言を施設職員が行う。  ・活動の方針や方向の話し合い  ・ボランティアの方への研修の企画、実施</p>
199	山口県	祥寿園	<p><b>【近隣地域対象介護教室】</b>  近隣の地域の方とのネットワーク形成を行い、施設として主体的に関わりを持っていくため、施設内を開放、来所いただき、老人福祉や介護に関するテーマで、外部講師を招いたり施設の職員が講師となって介護教室を開催している。</p>

200	山口県	慈光福祉会	<p><b>【小・中・高校生の福祉教育事業に協力】</b>  小学校、中学校、高等学校の福祉関連授業に協力し、施設に来てもらっている。地元の高校は県下でも珍しい福祉科があり、慰問活動の受け入れだけでなく、特に実習や施設見学、高齢者とのコミュニケーションの練習に協力している。</p>
201	山口県	山口県社会福祉事業団	<p><b>【災害時の一時避難サービスの実施】</b>  市との協定により、災害時における高齢者や重度障害者の方々等の緊急避難施設として当園の施設を使用することとしている。  また、市からの要請があれば、当園の車輛での移送も行うこととしている。</p>
202	徳島県	愛育会	<p><b>【さをり広場】</b>  重度～軽度の家庭科利用者 20 名、職員 5 名さをり織りを中心に作業を行っている。さをり織りは規制がなく自由な発想で、本人のもつ感性を引き出す織物である。平成元年さをり広場設立、1 年を 2 期に分け一般より受講生を募り、技術指導を行う。昨年より 1 期を 1 年単位として現在 36 期生受講中。1 期毎に 5 名～8 名の受講生を受け入れている。毎週水曜日に 15～16：45 地域交流センターにて活動</p>
203	愛媛県	聖風会	<p><b>【災害時等一時避難サービス事業】</b>  台風等災害予想時、山村地区の在宅高齢者等を施設で避難受入れを行い、寝具、食事提供し、施設からの送迎も行った。</p>
204	愛媛県	神拝保育園	<p><b>【地域の親子支援「元気にここにこ堂」】</b>  人が通らなくなった商店街で「こんにちは」「ありがとう」の挨拶が元気に行き交う中で、子育て中の親子が気軽にいつでも利用できる「ホッとする場」また、子どもを通して親同士の話しが弾み元気を上げたり、貰ったりする。そんな橋渡しを保育士が持てるノウハウを惜しみなく発揮し、親が子育ての楽しさ、喜びを感じ、子どもを愛おしく思えるそんな元気で明るい子育てを推奨したいと「元気にここにこ堂」を旗揚げしました。人が人を呼び、色々な特技を持っている親が、講師になり合って活動の輪がどんどん広まっています。</p>
205	愛媛県	寿山会	<p><b>【介護教室】</b>  ・ケアハウス入居者と地域の高齢者、その家族とのふれあいの機会を作り、福祉の向上についての知識や技術を学んでいただき、健康づくりに役立ててもらおう。  ・口腔ケアについての介護教室や転倒予防教室の開催。</p>
206	愛媛県	白鳳会	<p><b>【障害児交流】</b>  ひまわり園との交流  H18 年度は 5 才児女児と保護者（又はサポーター）も一緒に体験を目的とした交流  松山市発達支援関係機関連絡会との連携</p>
207	愛媛県	育和会	<p><b>【ほっとサロン（子育てグループワーク、カウンセリング）】</b>  松山赤十字病院臨床心理士の平林茂代講師が主宰するえひめ親子人間関係研究所の認定するコミュニティカウンセラーも一緒に参加し、コミュニケーションの大切さや深め方について楽しみながら学習できるようにしている。また、個別の育児相談も行っている。</p>
208	高知県	秦ダイヤライフ福祉会	<p><b>【①いきいき百歳応援講座、②虐待を受けている方の緊急ショートステイ受入】</b>  ①地域住民の方を対象に、当施設の地域交流ホールを開放し年 2 回、春期（5 月～8 月）、秋期（9 月～12 月）の 2 スクール開催しております。高知県のいきいき百歳応援講座（スペシャル版）のビデオに添って主に、筋力運動を行い、負荷が 10 段階（0～2Kg）の変更可能な重錘バンドを使用し、PT 指導のもと実施しております。また、運動終了後希望者には昼食を提供しています。  ②地域の各機関と連携し、虐待を受けている方の緊急ショートステイの受入を行っています。最近のケースでは、主介護者の介護疲れによる虐待を受けているケースがありましたので、担当ケアマネと連携し速やかなショートステイを行い、ご家族とご本人の関係修復に至りました。</p>

209	佐賀県	佐賀清光園	【DV被害者の緊急一時保護事業、要保護児童地域対策ネットワーク】 DVの被害者の一時保護に関し、委託を受け、被害者の受け入れ、食事の提供、入浴の提供などを行うものである。
210	佐賀県	たちばな会	【①知的障害に関する相談支援事業、 ②知的障害者生活支援、③DV被害者支援事業】 ①に関しては、施設開所時より取り組んでいる。障害者自身、障害者の保護者からの電話や来所による相談を受け適切な助言を行っている。 ②は、行政機関の閉庁等により受ける事が出来ないサービス（緊急短期入所等）や、障害者個人の要望に応えるため開始した事業である。現制度下では、以前ほどの利用があつてないのが現状である。 ③は、県婦人相談所からの紹介によるDV被害者を一時的に保護し、移転先が決まるまで生活の場を提供している。
211	熊本県	真光会	地域主催のサロン・福祉行事・老人会などに参加し、出張講座を開催させていただいている。介護保険・一人暮らしの高齢者へのアドバイス・介護予防支援・相談受付をおこなっている。また、施設近隣校区で、介護に関する情報紙を配布し啓発に努めている。 高齢者とは別に家庭裁判所から社会参加活動を受け入れ少年たちの実習を行っている。
212	熊本県	天水福社 事業会	【郷土伝統芸能継承活動】 昔からのこの地方に伝わる神楽・乙女舞・火の神太鼓を子ども達に教えることによって、廃れはじめていた地域の文化を継承させ、日本の心や伝統の継承、復活をはかる。 結果、地元神社において、多数の継承者が生まれている。又、色々なイベントにも数多く出演している。
213	熊本県	天水福社 事業会	【天水オレンジソフトテニスクラブ】 天水町はソフトテニスが盛んな地域であり、毎年11月にはみかんの里テニス大会として北は広島、南は鹿児島からの参加者がある大会を開催している。 そんな中、地元の競技人口の底辺の拡大、礼儀作法を教え、子どもの健全育成を目的としている自主的練習機構ジュニアソフトテニスクラブを全面的にサポートしている。
214	熊本県	天水福社 事業会	【地域ボランティア活動】 年々必要になっているボランティアの大切さや自分たちでも地域に貢献できる喜びを体験させるため、以下のボランティア活動を行っている。 ・地域清掃活動（小学生（本宮、町役場前の缶拾い他）、保育園児（護国神社の清掃） ・音楽慰問（地域の「憩いの家」ひまわりサロンにて、中学校へ（職員のフルート、ピアノ演奏） ・独居老人友愛訪問（子ども達自ら手植え、稲刈りしたお米を配る） ・地域老人会、民生委員さんと子ども達との交流会（合奏、歌など）
215	熊本県	慈愛園	施設のある地域（校区）で、児童養護施設の持つ専門性を活かし、子育て支援ネットワークを通じて児童虐待予防をはかっている。ネットワークには、校区社会福祉協議会、民生児童委員、関連福祉施設、小中学校、幼稚園、地域の各種団体、保健福祉センターが参画し、3ヶ月に一度会合を持ち情報交換や研修を実施している。子育て支援としては、月に一度サークルと校区の新生児に「愛の絵本プレゼント」を実施。
216	熊本県	慈愛園	出産を控えたカップルに授乳、だっこ、おむつ換えなどを実際に体験してもらうとともに、栄養士、保育士、看護師等がこれからの育児に必要なことについて丁寧に説明。日曜日に開催し、父親の参加も促している。
217	熊本県	慈愛園	S62年の熊本市デイサービス事業の開始に当り、要援護者の実態把握のため、砂取校区を中心に周辺8校区に渡る利用者の発掘調査を各校区社協長会議（25日）を開催し、実施することから福祉マップ作り

			<p>(一人暮らし世帯)を開始した。</p> <p>在宅介護支援事業として、当法人が圏内各施設で、一体となった地域福祉の拠点としての役割を担っており、定期的な地域福祉サービス連絡会を開催して、より深く地域密着のサービスを展開している。サービス連絡会を開催して、より深く地域密着のサービスを展開している。</p> <p>年一回開催される各種団体長による「砂取会」との連携は子育て支援から児童虐待、高齢者虐待の相談窓口「愛ネット砂取」が立ち上げられ、当法人の施設(子どもホーム、パウクスホーム)が相談受付を対応している。</p>
218	熊本県	慈愛園	<p>近隣の4つの保育園と主任児童委員と保健師、自治会が子育てネットワークを構築する。関係機関との連携をつなげることで月1回開催する。4つの保育園が持ち回りで場所を提供し、企画運営準備にも協力している。ネットワーク活動の中には他にマップ作成「公園編」「お医者さん編」「おもちゃ編」を校区住民の子育て中の方にできるだけわかりやすく図形化し、マップを住民に配布できた。</p>
219	熊本県	慈愛園	<p>2004年11月よりスタートする。年中、長児が参加し、じゃんけんゲームや肩たたき等「ふれあいあそび」を中心とする。全員で童謡をいっしょに歌うなど、一緒に楽しめるもの(参加型)を心がけるようにする。</p>
220	大分県	恵愛会	<p><b>【介護教室の開催・健康教室の開催】</b>  <b>介護教室の開催</b>  地域の公民館へ出向き、介護保険の改正内容等を説明している。対象としては老人会の方々  <b>健康教室の開催</b>  健康な老後を過ごすために、いかに努力するか?栄養の摂取は?日常の運動は?等を施設のホールを使用し、2ヶ月にわたりシリーズ(5回~7回)で実施している。講師としては、健康運動管理士、社会福祉士、看護師があたっている。初回は体力測定を実施し、最終回と比較して効果をみる。</p>
221	大分県	大分県社会福祉事業団	<p><b>【ピアヘルパー養成研修】</b>  ピアヘルパー養成研修は年に1回実施している。受講者の募集は、養護学校、施設に配布し、電話等で問い合わせがあれば送付している。今年度初めて報道機関を利用して募集を行った。募集人数は10名であるが毎年12~14名が受講している。ヘルパー3級家庭は50時間であるが、内容をよりきめ細かにわかりやすくするために70時間とした。市内の介護研修センターを主会場に70時間を13日(60時間)の講義と2日間(10時間)の実習に分け、日曜日を開講日として約4ヶ月間にわたり実施している。</p>
222	大分県	太陽の家	<p><b>【障害者スポーツ普及活動】</b>  重度の障害がある方々と一緒に楽しめるスポーツを立案、実行し地域へ啓発活動を促進している。現状は、卓球バレー・フライングディスク・ローリングバレー・ボッチャ・バドミントン等  また、競技スポーツも多く活躍中(車いすバスケットボール、陸上、ツインバスケットボール、車いすテニス等)</p>
223	大分県	同心会	<p><b>【栄養教室の開催】</b>  「食べること」「栄養改善」など「食」を通して、住み慣れた地域で在宅での充実した生活を支えることを目的に、情報誌を発行し、栄養教室を開催する。</p>
224	大分県	同心会	<p><b>【お弁当サービス】</b>  市の配食サービスを受けることが出来ない高齢者や障害者及び介護予防として栄養管理が必要な方に対して、低価格で栄養バランスの取れた弁当を提供する。</p>
225	大分県	同心会	<p><b>【情報誌(ワンポイント介護、ワンポイント栄養)の発行】</b>  介護者を抱える家族の負担の軽減及び、介護文化の構築を図ることを目的に、情報誌を発行。</p>

226	大分県	同心会	<p>【ケアケア交流講座（介護家族への教育支援プログラムの開発事業）】</p> <p>目的：認知症高齢者を在宅で介護する家族に対する専門的知識・技術の向上を図るために、介護者教育支援プログラムを作成し、広く全国に普及させていく。（3ヵ年計画）</p> <p>共催：認知症介護研究・研修仙台センター（独立行政法人福祉医療機構助成事業）</p>
227	大分県	大樹会	<p>【ボランティアコーディネーター実践事業、災害時一時避難サービス事業】</p> <p>①ボランティアコーディネーター実践事業 ボランティアコーディネーターはいるが、具体的な活動は行っていない。</p> <p>②災害時一時避難サービス事業 九重町と協定を結んで事業がスタートしたが（H18. 7. 4）まだ、サービスが必要な状況に直面していない。</p>
228	宮崎県	高千穂天寿会	<p>【災害時等一時避難事業】</p> <p>災害時及び災害前に高千穂町の判断により居宅が居住困難となった要支援者及びあらかじめ高千穂町の指定する避難所では、対応が困難な要援護者を受け入れ、施設設備の使用及び介護の提供を行う。</p>
229	宮崎県	慈愛保育園	<p>【保育園】</p> <p>地域活動として、老人ホームなどの慰問を年数回おこなっている。「エイサー」という沖縄伝統の太鼓を使った舞踊を園児達が披露している。英語教育が小学校でも開始され、国際感覚を養う必要があることから、外国人との様々な交流活動を行っている。とくに英語では、幼い頃からネイティブスピーカーの発音に慣れるとともに、肌の色や言葉の違いにも慣れ親しむことを目的とし、英語を使いながらの運動で楽しく学ぶ時間も設けている。</p>
230	鹿児島県	厚生福祉会	<p>【認知症予防教室】</p> <p>介護保険事業とは別に地域貢献事業の活動として地区センターに集まっていたいただきそこで軽体操及び認知症予防のゲーム、レクリエーションを約2時間程度実施しています。（一部自宅間との送迎有り）</p> <p>また希望者には上記の内容に加えて、プール利用による水中運動教室（冬季を除く）も実施しています。（地区センターとピースフル立神間の送迎有り）</p>
231	鹿児島県	林愛会	<p>【地域清掃ボランティア、老人福祉施設へのボランティア】</p> <p>発達障害や知的・具体的ハンディを抱える児童に対して「個別ケアの充実」「家庭復帰への支援」「自立支援」等の充実と安全で安心した家庭的な環境の中で、それらが効果的に行われるように「小規模グループケア」をH17年度より実施している。その処遇の一環として「老人福祉施設へのボランティア」を実施している。</p>
232	沖縄県	ゆうなの会	<p>【高齢者筋力向上トレーニング教室】</p> <p>那覇市内の高齢者を対象に、高齢者向けのトレーニング機器を使用しトレーニングを週2回（火・金曜日 午後4:30～8:30）行っている。機器は高齢者用トレーニング機器6台・エアロバイク3台・その他一般向け機器等を使用し、個人のレベルと目的に応じた個別プログラムを作成し実施している。</p> <p>また、世代間交流を目的に、高齢者以外の一般利用者も同様に受け入れている。</p>
233	沖縄県	ゆうなの会	<p>【ふれあい交流会】</p> <p>首里地区に住む65歳以上の高齢者を対象に、昼食を中心にレクリエーションや歌・ボランティアの余興（琉球・芝居等）を楽しみながら交流を行う。施設の主催ではあるが、民生委員・地域住民のボランティアの皆さんに協力してもらい、企画・送迎・配膳・出し物の準備等も一緒に行っている。また、引きこもり高齢者や要支援認定を受け、サービスが減った方の受け皿にもなっている。</p>

234	沖縄県	久仙会	<p><b>【離島在宅老人巡回介護指導事業】</b></p> <p>①在宅指導の方針の一環として、寝たきり老人、認知症老人の在宅中心の介護に代わることと、平成 12 年より施行される、介護保険制度に関してサービスの内容や申請の方法、費用負担等を家族に説明し、今後家庭でもサービスの選択を行い必要なサービスが受けられることなどを講習のなかで指導すること。</p> <p>②在宅介護の問題点の把握と介護方法につき、説明と実地指導</p> <p>③在宅支援の手段等の説明と相談指導</p> <p>④医師と介護士の個別訪問による、健康相談と個別介護指導</p>
235	沖縄県	久仙会	<p><b>【たしま友遊苑地域交流ホーム開放事業】</b></p> <p>①地域に開かれた施設とすることを目標に、地域住民の会合や研修、その他地域住民の便宜を図るために、地域交流ホームを提供すること</p> <p>②利用料金は低廉に設定すること（1 時間 100 円の利用料金）</p> <p>③あくまでの地域住民の福利厚生に寄与することを目的とするので宗教や営利目的の活動には提供しない。</p>